

# 【通所介護・地域密着型通所介護】

## 令和6年度（2024年度）介護報酬改定等説明資料

### 1 令和6年度（2024年度）介護報酬改定の概要（案）

- ・通所介護（地域密着型含む）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1～14
- ・療養通所介護・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14～21

### 2 介護報酬の算定構造（案）

令和6年（2024年）4月改定

- ・通所介護・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22～23
- ・地域密着型通所介護・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24～25

令和6年（2024年）6月改定

- ・通所介護・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26～27
- ・地域密着型通所介護・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28～29

### 3 介護給付費算定に係る体制等状況一覧表（案）

- ・通所介護・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30～32
- ・地域密着型通所介護・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33～35

《はじめに》

- 資料は、令和6年（2024年）1月22日に開催された「第239回 社会保障審議会介護給付費分科会」の資料のうち各サービスに係るページを抜粋しています。なお、「1 令和6年度（2024年度）介護報酬改定の概要（案）」の各改定事項概要欄の上部に対象サービスが記載（介護予防についても同様の措置を講ずる場合には★が付記）されています。
- 令和6年度（2024年度）介護報酬改定等の内容は、厚生労働省より省令・告示・通知等で正式に示されます。正式な省令・告示・通知等は、以下のホームページに掲載します。また、新たにQ&A等が発出された場合も同じく掲載しますので、随時、更新内容の確認をお願いします。

熊本県HP > 県政情報 > 健康・福祉・子育て  
> 高齢者・障がい者・介護 > 高齢者支援課 > 介護報酬改定  
※熊本県HP <http://www.pref.kumamoto.jp/>

熊本市HP > 分類から探す > しごと・産業・事業者向け  
> 届出・証明・法令・規制 > 介護・福祉 > 介護報酬改定  
※熊本市HP <http://www.city.kumamoto.jp/>

令和6年（2024年）3月  
熊本県健康福祉部長寿社会局高齢者支援課  
熊本市健康福祉局高齢者支援部介護事業指導課

## 2. (1)通所介護・地域密着型通所介護①

### 改定事項

- 通所介護・地域密着型通所介護 基本報酬
- ① 1(2)②豪雪地帯等において急な気象状況の悪化等があった場合の通所介護費等の所要時間の取扱いの明確化
- ② 1(5)④業務継続計画未策定事業所に対する減算の導入
- ③ 1(6)①高齢者虐待防止の推進
- ④ 1(6)②身体的拘束等の適正化の推進
- ⑤ 1(7)③通所介護・地域密着型通所介護における認知症加算の見直し
- ⑥ 2(1)③リハビリテーション・個別機能訓練、口腔管理、栄養管理に係る一体的計画書の見直し
- ⑦ 2(2)①通所介護等における入浴介助加算の見直し
- ⑧ 2(3)①科学的介護推進体制加算の見直し
- ⑨ 2(3)③アウトカム評価の充実のためのADL維持等加算の見直し
- ⑩ 3(1)①介護職員処遇改善加算・介護職員等特定処遇改善加算・介護職員等ベースアップ等支援加算の一本化
- ⑪ 3(2)①テレワークの取扱い

197

## 2. (1)通所介護・地域密着型通所介護②

### 改定事項

- ⑫ 3(2)⑧外国人介護人材に係る人員配置基準上の取扱いの見直し
- ⑬ 3(3)⑦通所介護、地域密着型通所介護における個別機能訓練加算の人員配置要件の緩和及び評価の見直し
- ⑭ 5②特別地域加算、中山間地域等の小規模事業所加算及び中山間地域に居住する者へのサービス提供加算の対象地域の明確化
- ⑮ 5⑤通所系サービスにおける送迎に係る取扱いの明確化

## 通所介護 基本報酬

### 単位数

※以下の単位数はすべて1回あたり（7時間以上8時間未満の場合）

<b>通常規模型</b>	< 現行 >	< 改定後 >	<b>大規模型 I</b>	< 現行 >	< 改定後 >
要介護 1	655単位	658単位	要介護 1	626単位	629単位
要介護 2	773単位	777単位	要介護 2	740単位	744単位
要介護 3	896単位	900単位	要介護 3	857単位	861単位
要介護 4	1,018単位	1,023単位	要介護 4	975単位	980単位
要介護 5	1,142単位	1,148単位	要介護 5	1,092単位	1,097単位
<b>大規模型 II</b>					
	< 現行 >	< 改定後 >			
要介護 1	604単位	607単位			
要介護 2	713単位	716単位			
要介護 3	826単位	830単位			
要介護 4	941単位	946単位			
要介護 5	1,054単位	1,059単位			

170

## 地域密着型通所介護 基本報酬

### 単位数

○地域密着型通所介護（1回あたり）※7時間以上8時間未満の場合

	< 現行 >	< 改定後 >		< 現行 >	< 改定後 >
要介護 1	750単位	753単位			
要介護 2	887単位	890単位			
要介護 3	1,028単位	1,032単位			
要介護 4	1,168単位	1,172単位			
要介護 5	1,308単位	1,312単位			
○療養通所介護					
	< 現行 >	< 改定後 >			
療養通所介護	12,691単位	12,785単位			（1月あたり）
短期利用の場合	（新設）	1,335単位			（1日あたり）

## 1. (2) ② 豪雪地帯等において急な気象状況の悪化等があった場合の通所介護費等の所要時間の取扱いの明確化

### 概要

【通所介護、地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護★、通所リハビリテーション】

- 豪雪地帯等において、積雪等のやむを得ない事情の中でも継続的なサービス提供を行う観点から、通所介護費等の所要時間について、利用者の心身の状況（急な体調不良等）に限らず、積雪等をはじめとする急な気象状況の悪化等によるやむを得ない事情についても考慮することとする。【通知改正】

### 算定要件等

- 現行の所要時間による区分の取扱いにおいては、現に要した時間ではなく、計画に位置づけられた内容の通所介護等を行うための標準的な時間によることとされているところ、実際の通所介護等の提供が計画上の所要時間よりも、やむを得ず短くなった場合には計画上の単位数を算定して差し支えないものとしている。  
 上記「やむを得ず短くなった場合」には、当日の利用者の心身の状況に加えて、**降雪等の急な気象状況の悪化等により、利用者宅と事業所間の送迎に平時よりも時間を要した場合**も該当する。  
 なお、計画上の所要時間よりも大きく短縮した場合には、計画を変更の上、変更後の所要時間に応じた単位数を算定すること。

11

## 1. (5) ④ 業務継続計画未策定事業所に対する減算の導入

### 概要

【全サービス（居宅療養管理指導★、特定福祉用具販売★を除く）】

- 感染症や災害が発生した場合であっても、必要な介護サービスを継続的に提供できる体制を構築するため、業務継続に向けた計画の策定の徹底を求める観点から、感染症若しくは災害のいずれか又は両方の業務継続計画が未策定の場合、基本報酬を減算する。【告示改正】

### 単位数

<現行>  
なし



<改定後>

**業務継続計画未実施減算**

**施設・居住系サービス**

所定単位数の100分の3に相当する単位数を減算（新設）

**その他のサービス**

所定単位数の100分の1に相当する単位数を減算（新設）

※ 平成18年度に施設・居住系サービスに身体拘束廃止未実施減算を導入した際は、5単位/日減算であったが、各サービス毎に基本サービス費や算定方式が異なることを踏まえ、定率で設定。なお、その他サービスは、所定単位数から平均して7単位程度/（日・回）の減算となる。

### 算定要件等

- 以下の基準に適合していない場合（新設）
  - ・ 感染症や非常災害の発生時において、利用者に対するサービスの提供を継続的に実施するための、及び非常時の体制で早期の業務再開を図るための計画（業務継続計画）を策定すること
  - ・ 当該業務継続計画に従い必要な措置を講ずること
  - ※ 令和7年3月31日までの間、感染症の予防及びまん延の防止のための指針の整備及び非常災害に関する具体的計画の策定を行っている場合には、減算を適用しない。訪問系サービス、福祉用具貸与、居宅介護支援については、令和7年3月31日までの間、減算を適用しない。
- 1年間の経過措置期間中に全ての事業所で計画が策定されるよう、事業所間の連携により計画策定を行って差し支えない旨を周知することも含め、小規模事業所の計画策定支援に引き続き取り組むほか、介護サービス情報公表システムに登録すべき事項に業務継続計画に関する取組状況を追加する等、事業所への働きかけを強化する。また、県別の計画策定状況を公表し、指定権者による取組を促すとともに、業務継続計画を策定済みの施設・事業所についても、地域の特性に合わせた実効的な内容となるよう、指定権者による継続的な指導を求める。

## 1. (6) ① 高齢者虐待防止の推進①

### 概要

【全サービス（居宅療養管理指導★、特定福祉用具販売★を除く）】

- 利用者の人権の擁護、虐待の防止等をより推進する観点から、全ての介護サービス事業者（居宅療養管理指導及び特定福祉用具販売を除く。）について、虐待の発生又はその再発を防止するための措置（虐待の発生又はその再発を防止するための委員会の開催、指針の整備、研修の実施、担当者を定めること）が講じられていない場合に、基本報酬を減算する。その際、福祉用具貸与については、そのサービス提供の様相が他サービスと異なること等を踏まえ、3年間の経過措置期間を設けることとする。【告示改正】
- 施設におけるストレス対策を含む高齢者虐待防止に向けた取組例を収集し、周知を図るほか、国の補助により都道府県が実施している事業において、ハラスメント等のストレス対策に関する研修を実施できることや、同事業による相談窓口について、高齢者本人とその家族だけでなく介護職員等も利用できることを明確化するなど、高齢者虐待防止に向けた施策の充実を図る。

### 単位数

< 現行 >  
なし

< 改定後 >

**高齢者虐待防止措置未実施減算** 所定単位数の100分の1に相当する単位数を減算（新設）

※ 平成18年度に施設・居住系サービスに身体拘束廃止未実施減算を導入した際は、5単位/日減算であったが、各サービス毎に基本サービス費や算定方式が異なることを踏まえ、定率で設定。なお、所定単位数から平均して7単位程度/（日・回）の減算となる。

### 算定要件等

- 虐待の発生又はその再発を防止するための以下の措置が講じられていない場合（新設）
  - ・ 虐待の防止のための対策を検討する委員会（テレビ電話装置等の活用可能）を定期的で開催するとともに、その結果について、従業者に周知徹底を図ること。
  - ・ 虐待の防止のための指針を整備すること。
  - ・ 従業者に対し、虐待の防止のための研修を定期的実施すること。
  - ・ 上記措置を適切に実施するための担当者を置くこと。

49

## 1. (6) ① 高齢者虐待防止の推進②

### 算定要件等

- 全ての施設・事業所で虐待防止措置が適切に行われるよう、令和6年度中に小規模事業所等における取組事例を周知するほか、介護サービス情報公表システムに登録すべき事項に虐待防止に関する取組状況を追加する。また、指定権者に対して、集団指導等の機会等にて虐待防止措置の実施状況を把握し、未実施又は集団指導等に不参加の事業者に対する集中的な指導を行うなど、高齢者虐待防止に向けた取組の強化を求めるとともに、都道府県別の体制整備の状況を周知し、更なる取組を促す。



## 1. (6) ② 身体的拘束等の適正化の推進①

### 概要

【ア：短期入所系サービス★、多機能系サービス★、イ：訪問系サービス★、通所系サービス★、福祉用具貸与★、特定福祉用具販売★、居宅介護支援★】

- 身体的拘束等の更なる適正化を図る観点から、以下の見直しを行う。
  - ア 短期入所系サービス及び多機能系サービスについて、身体的拘束等の適正化のための措置（委員会の開催等、指針の整備、研修の定期的な実施）を義務付ける。【省令改正】また、身体的拘束等の適正化のための措置が講じられていない場合は、基本報酬を減算する。その際、1年間の経過措置期間を設けることとする。【告示改正】
  - イ 訪問系サービス、通所系サービス、福祉用具貸与、特定福祉用具販売及び居宅介護支援について、利用者又は他の利用者等の生命又は身体を保護するため緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等を行ってはならないこととし、身体的拘束等を行う場合には、その態様及び時間、その際の利用者の心身の状況並びに緊急やむを得ない理由を記録することを義務付ける。【省令改正】

### 基準

- 短期入所系サービス及び多機能系サービスの運営基準に以下の措置を講じなければならない旨を規定する。
  - ・ 身体的拘束等の適正化のための対策を検討する委員会を3月に1回以上開催するとともに、その結果について、介護職員その他従業者に周知徹底を図ること。
  - ・ 身体的拘束等の適正化のための指針を整備すること。
  - ・ 介護職員その他の従業者に対し、身体的拘束等の適正化のための研修を定期的実施すること。
- 訪問系サービス、通所系サービス、福祉用具貸与、特定福祉用具販売及び居宅介護支援の運営基準に以下を規定する。
  - ・ 利用者又は他の利用者等の生命又は身体を保護するため緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等を行ってはならないこと。
  - ・ 身体的拘束等を行う場合には、その態様及び時間、その際の利用者の心身の状況並びに緊急やむを得ない理由を記録しなければならないこと。

51

## 1. (7) ③ 通所介護・地域密着型通所介護における認知症加算の見直し

### 概要

【通所介護、地域密着型通所介護】

- 通所介護・地域密着型通所介護における認知症加算について、事業所全体で認知症利用者に対応する観点から、従業者に対する認知症ケアに関する個別事例の検討や技術的指導に係る会議等を定期的開催することを求めることとする。また、利用者に占める認知症の方の割合に係る要件を緩和する。【告示改正】

### 単位数

<現行> 認知症加算 60単位/日  <改定後> 変更なし

### 算定要件等

- 指定居宅サービス等基準第93条第1項第2号又は第3号・指定地域密着型サービス基準第20条第1項第2号又は第3号に規定する員数に加え、看護職員又は介護職員を常勤換算方法で2以上確保していること。
- 指定通所介護事業所・指定地域密着型通所介護事業所における前年度又は算定日が属する月の前3月間の利用者の総数のうち、日常生活に支障を来すおそれのある症状又は行動が認められることから介護を必要とする認知症の者の占める割合が100分の15以上であること。
- 指定通所介護・指定地域密着型通所介護を行う時間帯を通じて、専ら当該指定通所介護・指定地域密着型通所介護の提供に当たる認知症介護の指導に係る専門的な研修、認知症介護に係る専門的な研修又は認知症介護に係る実践的な研修等を修了した者を1名以上配置していること。
- 当該事業所の従業者に対する認知症ケアに関する事例の検討や技術的指導に係る会議を定期的開催していること。（新設）

## 2. (1) ③ リハビリテーション・個別機能訓練、口腔管理、栄養管理に係る一体的計画書の見直し

<b>概要</b>	【通所介護、通所リハビリテーション★、地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護★、介護老人福祉施設、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護、介護老人保健施設、介護医療院】
○ リハビリテーション・機能訓練、口腔、栄養の一体的取組を推進する観点から、リハビリテーション・個別機能訓練、口腔管理、栄養管理に係る一体的計画書の見直しを行う。【通知改正】	

<b>算定要件等</b>	○ リハビリテーション・機能訓練、口腔、栄養に係る一体的計画書について、記載項目の整理するとともに、他の様式におけるLIFE提出項目を踏まえた様式に見直し。
--------------	--

70

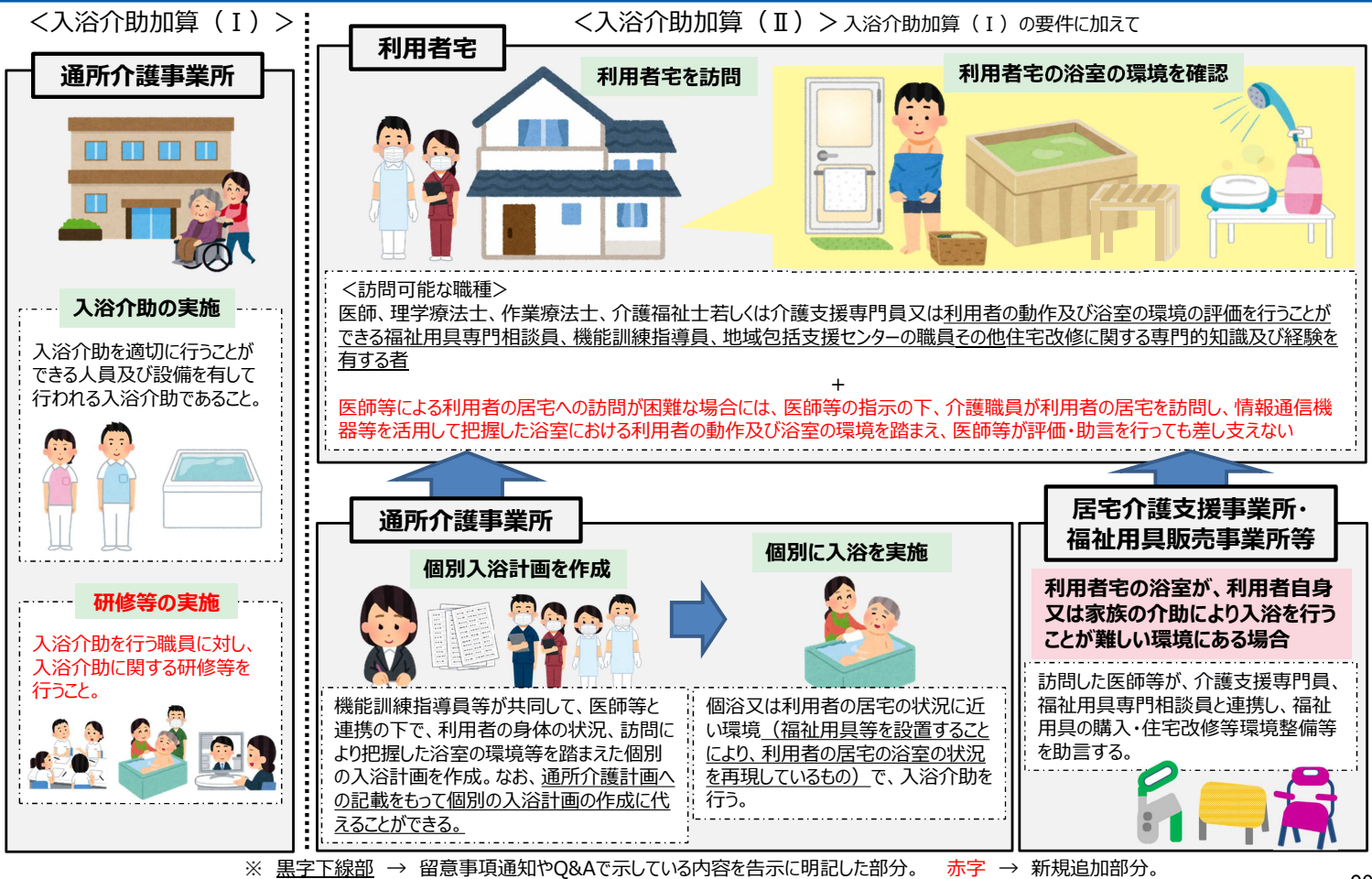
## 2. (2) ① 通所介護等における入浴介助加算の見直し①

<b>概要</b>	【通所介護、地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護★】
○ 通所介護等における入浴介助加算について、入浴介助技術の向上や利用者の居宅における自立した入浴の取組を促進する観点から、以下の見直しを行う。 ア 入浴介助に必要な技術の更なる向上を図る観点から、入浴介助加算（Ⅰ）の算定要件に、入浴介助に関わる職員に対し、入浴介助に関する研修等を行うことを新たな要件として設ける。【告示改正】 イ 入浴介助加算（Ⅱ）の算定要件である、「医師等による、利用者宅浴室の環境評価・助言」について、人材の有効活用を図る観点から、医師等に代わり介護職員が訪問し、医師等の指示の下、ICT機器を活用して状況把握を行い、医師等が評価・助言する場合も算定することを可能とする。【告示・通知改正】 加えて、利用者の居宅における自立した入浴への取組を促進する観点から、入浴介助加算（Ⅱ）の算定要件に係る現行のQ&Aや留意事項通知で示している内容を告示に明記し、要件を明確化する【告示改正】	

<b>単位数</b>											
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;"><b>&lt; 現行 &gt;</b></td> <td style="width: 40%;"></td> <td style="width: 30%;"><b>&lt; 改定後 &gt;</b></td> </tr> <tr> <td>入浴介助加算（Ⅰ）</td> <td>40単位/日</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>入浴介助加算（Ⅱ）</td> <td>55単位/日</td> <td>変更なし</td> </tr> </table>			<b>&lt; 現行 &gt;</b>		<b>&lt; 改定後 &gt;</b>	入浴介助加算（Ⅰ）	40単位/日	変更なし	入浴介助加算（Ⅱ）	55単位/日	変更なし
<b>&lt; 現行 &gt;</b>		<b>&lt; 改定後 &gt;</b>									
入浴介助加算（Ⅰ）	40単位/日	変更なし									
入浴介助加算（Ⅱ）	55単位/日	変更なし									

<b>算定要件等</b>	<p>&lt; 入浴介助加算（Ⅰ） &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>入浴介助を適切に行うことができる人員及び設備を有して行われる入浴介助であること。</li> <li><u>入浴介助に関わる職員に対し、入浴介助に関する研修等を行うこと。</u></li> </ul> <p>&lt; 入浴介助加算（Ⅱ） &gt;（入浴介助加算（Ⅰ）の要件に加えて）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医師、理学療法士、作業療法士、介護福祉士 <u>若しくは介護支援専門員又は利用者の動作及び浴室の環境の評価を行うことができる福祉用具専門相談員、機能訓練指導員、地域包括支援センターの職員その他住宅改修に関する専門的知識及び経験を有する者（以下「医師等」という。）</u>が、利用者の居宅を訪問し、浴室における当該利用者の動作及び浴室の環境を評価していること。この際、当該居宅の浴室が、当該利用者自身又は家族等の介助により入浴を行うことが難しい環境にある場合には、訪問した医師等が、介護支援専門員・福祉用具専門相談員と連携し、福祉用具の貸与・購入・住宅改修等の浴室の環境整備に係る助言を行うこと。<u>ただし、医師等による利用者の居宅への訪問が困難な場合には、医師等の指示の下、介護職員が利用者の居宅を訪問し、情報通信機器等を活用して把握した浴室における当該利用者の動作及び浴室の環境を踏まえ、医師等が当該評価・助言を行っても差し支えないものとする。</u></li> <li>当該事業所の機能訓練指導員等が共同して、医師等と連携の下で、利用者の身体の状況、訪問により把握した居宅の浴室の環境等を踏まえた個別の入浴計画を作成すること。<u>ただし、個別の入浴計画に相当する内容を通所介護計画に記載することをもって個別の入浴計画の作成に代えることができる。</u></li> <li>上記の入浴計画に基づき、個浴（個別の入浴をいう。）又は利用者の居宅の状況に近い環境（<u>利用者の居宅の浴室の手すりの位置や使用する浴槽の深さ及び高さ等に合せて、当該事業所の浴室に福祉用具等を設置することにより、利用者の居宅の浴室の状況を再現しているものをいう。</u>）で、入浴介助を行うこと。</li> </ul>
--------------	---

## 2. (2) ① 通所介護等における入浴介助加算の見直し②



## 2. (3) ① 科学的介護推進体制加算の見直し

【通所介護、地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護★、通所リハビリテーション★、特定施設入居者生活介護★、地域密着型特定施設入居者生活介護、小規模多機能型居宅介護★、認知症対応型共同生活介護★、看護小規模多機能型居宅介護、介護老人福祉施設、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護、介護老人保健施設、介護医療院】

### 概要

- 科学的介護推進体制加算について、質の高い情報の収集・分析を可能とし、入力負担を軽減し科学的介護を推進する観点から、以下の見直しを行う。
  - ア 加算の様式について入力項目の定義の明確化や他の加算と共通している項目の見直し等を実施。【通知改正】
  - イ LIFEへのデータ提出頻度について、少なくとも「6月に1回」から「3月に1回」に見直す。【通知改正】
  - ウ 初回のデータ提出時期について、他のLIFE関連加算と揃えることを可能とする。【通知改正】

### 算定要件等

- LIFEへのデータ提出頻度について、他のLIFE関連加算と合わせ、少なくとも「3月に1回」に見直す。
- その他、LIFE関連加算に共通した見直しを実施。
  - ＜入力負担軽減に向けたLIFE関連加算に共通する見直し＞
    - ・ 入力項目の定義の明確化や、他の加算と共通する項目の選択肢を統一化する
    - ・ 同一の利用者に複数の加算を算定する場合に、一定の条件下でデータ提出のタイミングを統一できるようにする

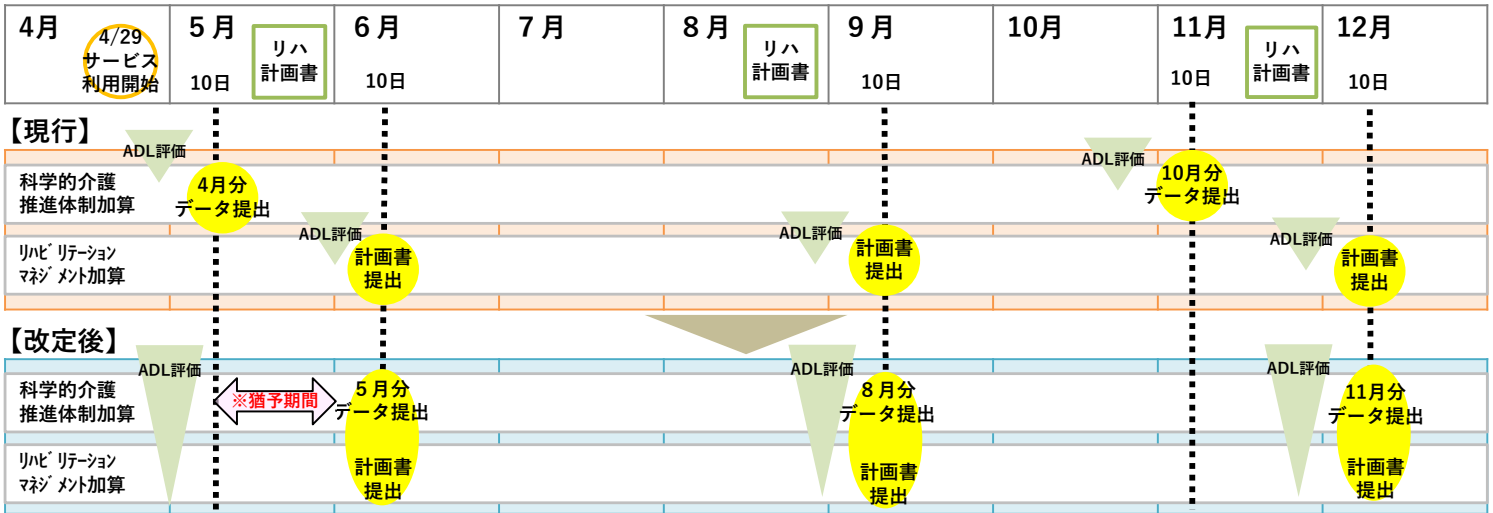


# LIFEへのデータ提出頻度の見直し（イメージ）

- 各加算のデータ提出頻度について、サービス利用開始月より入力を求めている加算もあれば、サービス利用開始後の計画策定時に入力が必要な加算もあり、同一の利用者であっても算定する加算によって入力のタイミングが異なり、事業所における入力タイミングの管理が煩雑となっている。
- LIFEへのデータ提出について、「少なくとも3か月に1回」と統一する。
- また、同一の利用者に対して複数の加算を算定する場合のデータ提出頻度を統一できるよう、例えば、月末よりサービス利用を開始する場合であって、当該利用者の評価を行う時間が十分確保できない場合等、一定の条件の下で、提出期限を猶予する。

## 例：同一の利用者に科学的介護推進体制加算及びリハビリテーションマネジメント加算を算定する場合

- ・ 現在、科学的介護推進体制加算はサービス利用開始月とその後少なくとも6月に1度評価を行い、翌月の10日までにデータを提出することとなっており、リハビリテーションマネジメント加算はリハビリテーション計画書策定月、及び計画変更月に加え、少なくとも3月に1度評価を行いデータを提出することとなっている。いずれの加算にもADLを含め同じ評価項目が含まれている。
- ・ これらの加算の提出タイミングを少なくとも3月に1度と統一するとともに、例えば、月末にサービスを開始した場合に、科学的介護推進体制加算のデータ提出期限に猶予期間を設けることで、評価やデータ提出のタイミングを揃えることを可能とする。



(※) 一定の条件の下で、サービス利用開始翌月までにデータ提出することとしても差し支えない。ただし、その場合は利用開始月は該当の加算は算定できないこととする。

98

# LIFEのフィードバック見直しイメージ（事業所フィードバック）

### 基本情報

サービス: 介護老人福祉施設 | 平均要介護度: 4.2

Excel形式ではなく、ブラウザ上で層別化等の設定を可能とすることで、操作性・視認性を向上

### ADL (Barthel Index) の状況

全国値に対する自施設・事業所の位置を参照可能

合計点の推移

時系列変化を複数時点で参照可能

合計点の位置比較

### 栄養状態

低栄養状態のリスクレベル

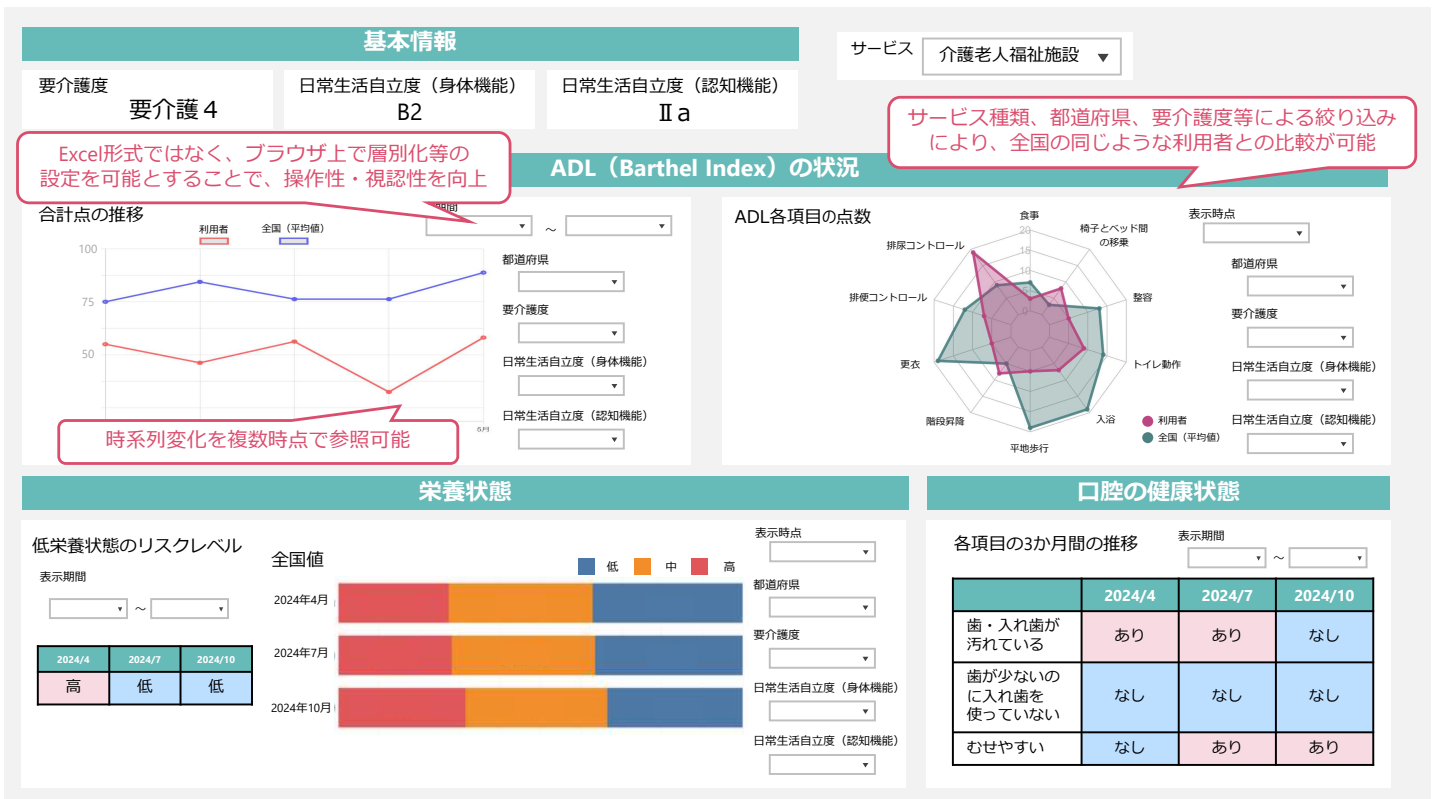
サービス種類、都道府県、要介護度等による絞り込みにより、全国と同じような利用者との比較が可能

### 口腔の健康状態

「あり」の割合

各施設・事業所において実施した取組と、LIFEデータの時系列変化や全国と同じような利用者との比較を組み合わせて検討することで、取組の効果や自施設・事業所の特徴の把握へ活用

# LIFEのフィードバック見直しイメージ（利用者フィードバック）

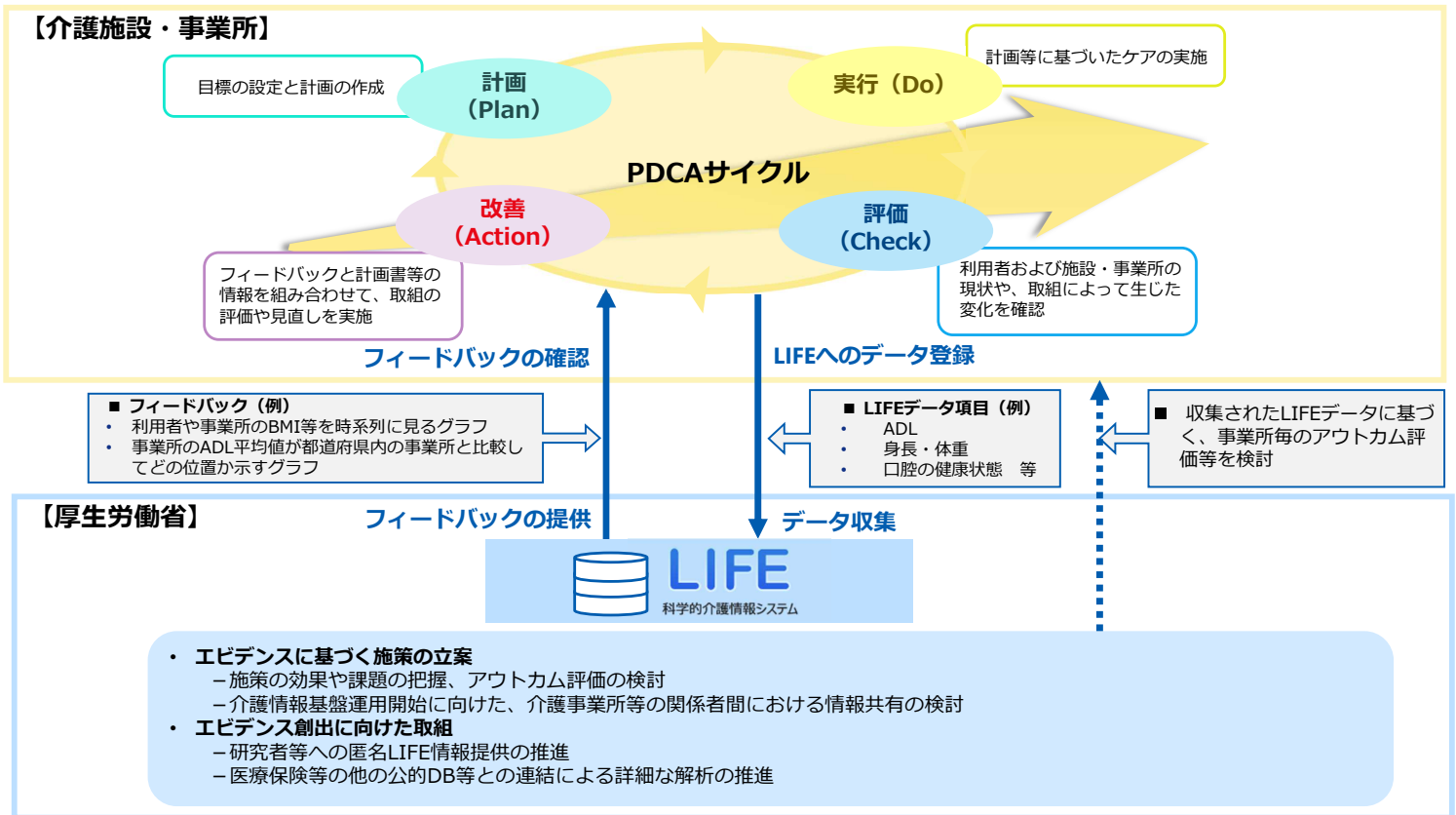


各利用者に対して実施した取組と、LIFEデータの時系列変化や全国の同じような利用者との比較を組み合わせることで、取組の効果や利用者の特徴の把握へ活用

100

## LIFEを活用した取組イメージ

- 介護事業所においては、介護の質向上に向けてLIFEを活用したPDCAサイクルを推進する。LIFEで収集したデータも活用し、介護報酬制度を含めた施策の立案や介護DXの取組、アウトカム評価につながるエビデンス創出に向けたLIFEデータの研究利活用を推進する。



## 2. (3) ③ アウトカム評価の充実のためのADL維持等加算の見直し

### 概要

【通所介護、地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護、特定施設入居者生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護、介護老人福祉施設、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護】

- ADL維持等加算について、自立支援・重度化防止に向けた取組をより一層推進する観点から、ADL維持等加算（Ⅱ）におけるADL利得の要件について、「2以上」を「3以上」と見直す。【告示改正】  
また、ADL利得の計算方法の簡素化を行う。【通知改正】

### 算定要件等

< ADL維持等加算（Ⅰ） >

- 以下の要件を満たすこと

- イ 利用者等（当該施設等の評価対象利用期間が6月を超える者）の総数が10人以上であること。
- ロ 利用者等全員について、利用開始月と、当該月の翌月から起算して6月目（6月目にサービスの利用がない場合はサービスの利用があった最終月）において、Barthel Indexを適切に評価できる者がADL値を測定し、測定した日が属する月ごとに厚生労働省に提出していること。
- ハ 利用開始月の翌月から起算して6月目の月に測定したADL値から利用開始月に測定したADL値を控除し、初月のADL値や要介護認定の状況等に応じた値を加えて得た値（調整済ADL利得）について、利用者等から調整済ADL利得の上位及び下位それぞれ1割の者を除いた者を評価対象利用者等とし、評価対象利用者等の調整済ADL利得を平均して得た値が1以上であること。

< ADL維持等加算（Ⅱ） >

- ADL維持等加算（Ⅰ）のイとロの要件を満たすこと。
- 評価対象利用者等の調整済ADL利得を平均して得た値が3以上であること。

< ADL維持等加算（Ⅰ）（Ⅱ）について >

- 初回の要介護認定があった月から起算して12月以内である者の場合や他の施設や事業所が提供するリハビリテーションを併用している利用者の場合のADL維持等加算利得の計算方法を簡素化。

103

## 3. (1) ① 介護職員の処遇改善①

### 概要

【訪問介護、訪問入浴介護★、通所介護、地域密着型通所介護、療養通所介護、認知症対応型通所介護★、通所リハビリテーション★、短期入所生活介護★、短期入所療養介護★、特定施設入居者生活介護★、地域密着型特定施設入居者生活介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、夜間対応型訪問介護、小規模多機能型居宅介護★、認知症対応型共同生活介護★、看護小規模多機能型居宅介護、介護老人福祉施設、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護、介護老人保健施設、介護医療院】

- 介護現場で働く方々にとって、令和6年度に2.5%、令和7年度に2.0%のベースアップへと確実につながるよう加算率の引上げを行う。
- 介護職員等の確保に向けて、介護職員の処遇改善のための措置ができるだけ多くの事業所に活用されるよう推進する観点から、介護職員処遇改善加算、介護職員等特定処遇改善加算、介護職員等ベースアップ等支援加算について、現行の各加算・各区分の要件及び加算率を組み合わせた4段階の「介護職員等処遇改善加算」に一本化を行う。  
※ 一本化後の加算については、事業所内での柔軟な職種間配分を認める。また、人材確保に向けてより効果的な要件とする等の観点から、月額賃金の改善に関する要件及び職場環境等要件を見直す。【告示改正】

### 単位数

※介護職員等処遇改善加算を除く加減算後の総報酬単位数に以下の加算率を乗じる。加算率はサービス毎の介護職員の常勤換算職員数に基づき設定。

サービス区分	介護職員等処遇改善加算			
	I	II	III	IV
訪問介護・夜間対応型訪問介護・定期巡回・随時対応型訪問介護看護	24.5%	22.4%	18.2%	14.5%
訪問入浴介護★	10.0%	9.4%	7.9%	6.3%
通所介護・地域密着型通所介護	9.2%	9.0%	8.0%	6.4%
通所リハビリテーション★	8.6%	8.3%	6.6%	5.3%
特定施設入居者生活介護★・地域密着型特定施設入居者生活介護	12.8%	12.2%	11.0%	8.8%
認知症対応型通所介護★	18.1%	17.4%	15.0%	12.2%
小規模多機能型居宅介護★・看護小規模多機能型居宅介護	14.9%	14.6%	13.4%	10.6%
認知症対応型共同生活介護★	18.6%	17.8%	15.5%	12.5%
介護老人福祉施設・地域密着型介護老人福祉施設・短期入所生活介護★	14.0%	13.6%	11.3%	9.0%
介護老人保健施設・短期入所療養介護（介護老人保健施設）★	7.5%	7.1%	5.4%	4.4%
介護医療院・短期入所療養介護（介護医療院）★・短期入所療養介護（病院等）★	5.1%	4.7%	3.6%	2.9%

(注) 令和6年度末までの経過措置期間を設け、経過措置期間中は、現行の3加算の取得状況に基づく加算率を維持した上で、今般の改定による加算率の引上げを受けることができるようにすることなどの激変緩和措置を講じる。

### 3. (1) ① 介護職員の処遇改善②

#### 算定要件等

- 一本化後の新加算全体について、職種に着目した配分ルールは設けず、事業所内で柔軟な配分を認める。
- 新加算のいずれの区分を取得している事業所においても、新加算Ⅳの加算額の1/2以上を月額賃金の改善に充てることを要件とする。  
※ それまでベースアップ等支援加算を取得していない事業所が、一本化後の新加算を新たに取得する場合には、収入として新たに増加するベースアップ等支援加算相当分の加算額については、その2/3以上を月額賃金の改善として新たに配分することを求める。

加算率(※)	既存の要件は黒字、新規・修正する要件は赤字		対応する現行の加算等(※)	新加算の趣旨
【24.5%】	新加算 (介護職員等 処遇改善加算)	Ⅰ <b>新加算(Ⅱ)に加え、以下の要件を満たすこと。</b> ・ 経験技能のある介護職員を事業所内で一定割合以上配置していること(訪問介護の場合、介護福祉士30%以上)	a. 処遇改善加算(Ⅰ)【13.7%】 b. 特定処遇加算(Ⅰ)【6.3%】 c. ベースアップ等支援加算【2.4%】	事業所内の経験・技能のある職員を充実
【22.4%】		Ⅱ <b>新加算(Ⅲ)に加え、以下の要件を満たすこと。</b> ・ 改善後の賃金年額440万円以上が1人以上 ・ 職場環境の更なる改善、見える化【見直し】 <del>グループごとの配分ルール【撤廃】</del>	a. 処遇改善加算(Ⅰ)【13.7%】 b. 特定処遇加算(Ⅱ)【4.2%】 c. ベースアップ等支援加算【2.4%】	総合的な職場環境改善による職員の定着促進
【18.2%】		Ⅲ <b>新加算(Ⅳ)に加え、以下の要件を満たすこと。</b> ・ 資格や勤続年数等に応じた昇給の仕組みの整備	a. 処遇改善加算(Ⅰ)【13.7%】 b. ベースアップ等支援加算【2.4%】	資格や経験に応じた昇給の仕組みの整備
【14.5%】		Ⅳ <b>新加算(Ⅳ)の1/2(7.2%)以上を月額賃金で配分</b> ・ 職場環境の改善(職場環境等要件)【見直し】 ・ 賃金体系等の整備及び研修の実施等	a. 処遇改善加算(Ⅱ)【10.0%】 b. ベースアップ等支援加算【2.4%】	介護職員の基本的な待遇改善・ベースアップ等

※：加算率は訪問介護のものを例として記載。

新加算(Ⅰ～Ⅳ)は、加算・賃金改善額の職種間配分ルールを統一。(介護職員への配分を基本とし、特に経験・技能のある職員に重点的に配分することとするが、事業所内で柔軟な配分を認める。)

108

### 3. (2) ① テレワークの取扱い

#### 概要

【全サービス(居宅療養管理指導★を除く。)]

- 人員配置基準等で具体的な必要数を定めて配置を求めている職種のテレワークに関して、個人情報適切に管理していること、利用者の処遇に支障が生じないこと等を前提に、取扱いの明確化を行い、職種や業務ごとに具体的な考え方を示す。【通知改正】



### 3. (2) ⑧ 外国人介護人材に係る人員配置基準上の取扱いの見直し

<b>概要</b>	【通所系サービス★、短期入所系サービス★、居住系サービス★、多機能系サービス★、施設系サービス】
<p>○ 就労開始から6月未満のEPA介護福祉士候補者及び技能実習生（以下「外国人介護職員」という。）については、日本語能力試験N1又はN2に合格した者を除き、両制度の目的を考慮し、人員配置基準への算入が認められていないが、就労開始から6月未満であってもケアの習熟度が一定に達している外国人介護職員がいる実態なども踏まえ、人員配置基準に係る取扱いについて見直しを行う。</p> <p>具体的には、外国人介護職員の日本語能力やケアの習熟度に個人差があることを踏まえ、事業者が、外国人介護職員の日本語能力や指導の実施状況、管理者や指導職員等の意見等を勘案し、当該外国人介護職員を人員配置基準に算入することについて意思決定を行った場合には、就労開始直後から人員配置基準に算入して差し支えないこととする。【告示改正】</p> <p>その際、適切な指導及び支援を行う観点、安全体制の整備の観点から、以下の要件を設ける。</p> <p>ア 一定の経験のある職員とチームでケアを行う体制とすること。</p> <p>イ 安全対策担当者の配置、指針の整備や研修の実施など、組織的に安全対策を実施する体制を整備していること。</p> <p>併せて、両制度の趣旨を踏まえ、人員配置基準への算入の有無にかかわらず、研修又は実習のための指導職員の配置や、計画に基づく技能等の修得や学習への配慮など、法令等に基づき、受入れ施設において適切な指導及び支援体制の確保が必要であることを改めて周知する。</p>	

<b>算定要件等</b>	<p>次のいずれかに該当するものについては、職員等の配置の基準を定める法令の適用について職員等とみなしても差し支えないこととする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>受入れ施設において就労を開始した日から6月を経過した外国人介護職員</li> <li>受入れ施設において就労を開始した日から6月を経過していない外国人介護職員であって、<u>受入れ施設（適切な研修体制及び安全管理体制が整備されているものに限る。）に係る事業を行う者が当該外国人介護職員の日本語の能力及び研修の実施状況並びに当該受入れ施設の管理者、研修責任者その他の職員の意見等を勘案し、当該外国人介護職員を職員等の配置の基準を定める法令の適用について職員等とみなすこととしたもの</u></li> <li>日本語能力試験N1又はN2に合格した者</li> </ul>
--------------	--

118

### 3. (3) ⑦ 通所介護、地域密着型通所介護における個別機能訓練加算の人員配置要件の緩和及び評価の見直し①

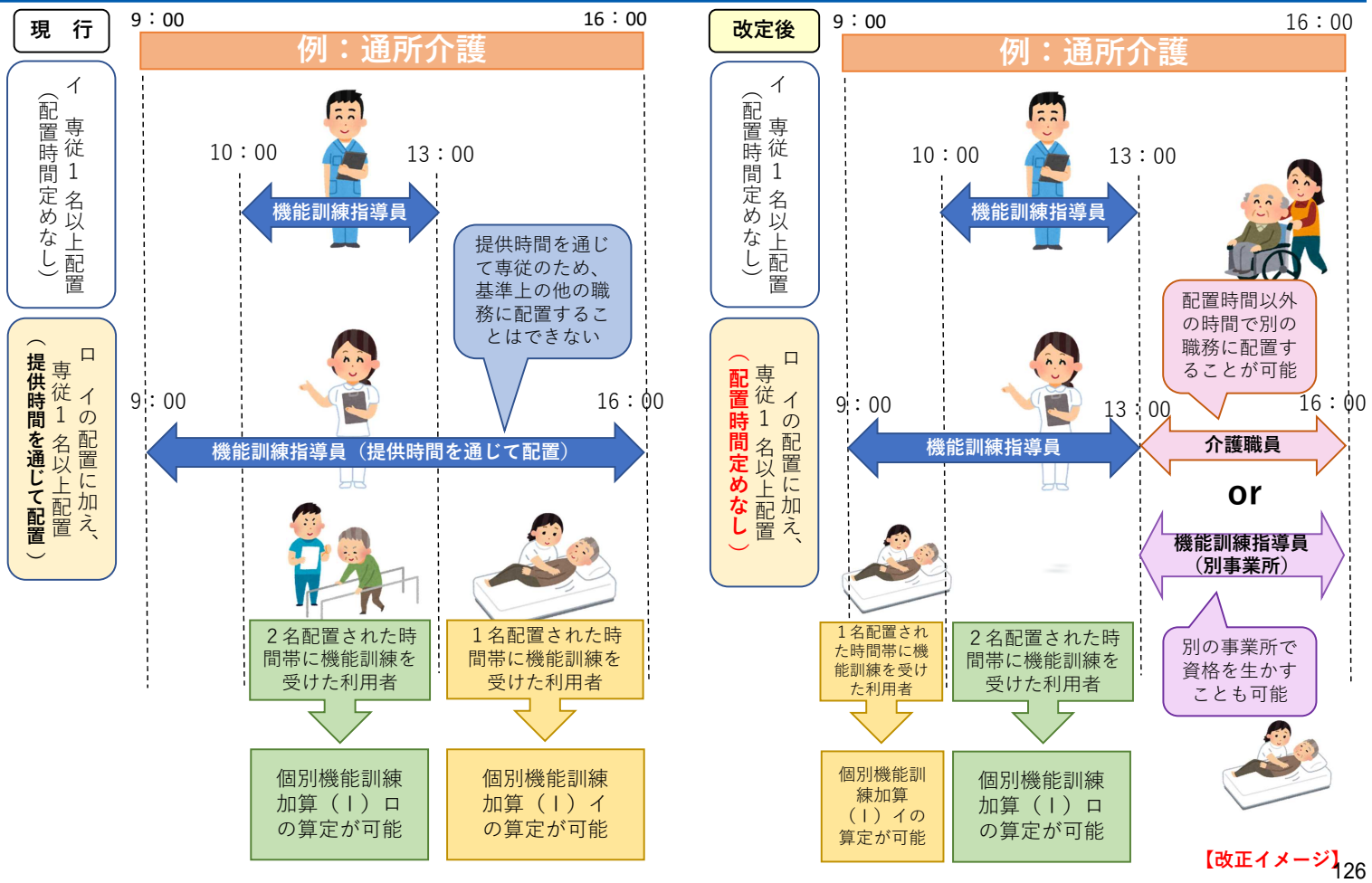
<b>概要</b>	【通所介護、地域密着型通所介護】
<p>○ 通所介護、地域密着型通所介護における個別機能訓練加算について、機能訓練を行う人材の有効活用を図る観点から、個別機能訓練加算（Ⅰ）において、現行、機能訓練指導員を通所介護等を行う時間帯を通じて1名以上配置しなければならないとしている要件を緩和するとともに、評価の見直しを行う。【告示改正】</p>	

<b>単位数</b>	<table style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">&lt; 現行 &gt;</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">&lt; 改定後 &gt;</td> </tr> <tr> <td>個別機能訓練加算（Ⅰ）イ 56単位/日</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>個別機能訓練加算（Ⅰ）ロ 85単位/日</td> <td>個別機能訓練加算（Ⅰ）ロ <b>76単位/日（変更）</b></td> </tr> <tr> <td>個別機能訓練加算（Ⅱ） 20単位/月</td> <td>変更なし</td> </tr> </table>	< 現行 >	< 改定後 >	個別機能訓練加算（Ⅰ）イ 56単位/日	変更なし	個別機能訓練加算（Ⅰ）ロ 85単位/日	個別機能訓練加算（Ⅰ）ロ <b>76単位/日（変更）</b>	個別機能訓練加算（Ⅱ） 20単位/月	変更なし
< 現行 >	< 改定後 >								
個別機能訓練加算（Ⅰ）イ 56単位/日	変更なし								
個別機能訓練加算（Ⅰ）ロ 85単位/日	個別機能訓練加算（Ⅰ）ロ <b>76単位/日（変更）</b>								
個別機能訓練加算（Ⅱ） 20単位/月	変更なし								

<b>算定要件等</b>	<b>個別機能訓練加算（Ⅰ）ロ</b>
ニーズ把握・情報収集	通所介護・地域密着型通所介護事業所の機能訓練指導員が、利用者の居宅を訪問し、ニーズを把握するとともに、居宅での生活状況を確認。
機能訓練指導員の配置	専従1名以上配置（ <u>配置時間の定めなし</u> ） ※ 人員欠削減・定員超過減算に該当している場合は、個別機能訓練加算を算定しない。 ※ 個別機能訓練加算（Ⅰ）イの配置（専従1名以上配置（配置時間の定めなし））に加え、合計で2名以上の機能訓練指導員を配置している時間帯において算定が可能。
計画作成	居宅訪問で把握したニーズと居宅での生活状況を参考に、多職種共同でアセスメントを行い、個別機能訓練計画を作成。
機能訓練項目	利用者の心身の状況に応じて、身体機能及び生活機能の向上を目的とする機能訓練項目を柔軟に設定。訓練項目は複数種類を準備し、その選択に当たっては利用者の生活意欲が増進されるよう利用者を援助する。
訓練の対象者	5人程度以下の小集団又は個別。
訓練の実施者	機能訓練指導員が直接実施（介護職員等が訓練の補助を行うことは妨げない）
進捗状況の評価	3か月に1回以上実施し、利用者の居宅を訪問した上で、居宅での生活状況を確認するとともに、当該利用者又はその家族に対して個別機能訓練計画の進捗状況等を説明し、必要に応じて個別機能訓練計画の見直し等を行う。



### 3. (3) ⑦ 通所介護、地域密着型通所介護における個別機能訓練加算の人員配置要件の緩和及び評価の見直し②



### 5. ② 特別地域加算、中山間地域等の小規模事業所加算及び中山間地域に居住する者へのサービス提供加算の対象地域の明確化

**概要** 【訪問系サービス★、通所系サービス★、多機能系サービス★、福祉用具貸与★、居宅介護支援】

○ 過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法において、「過疎地域」とみなして同法の規定を適用することとされている地域等が、特別地域加算、中山間地域等の小規模事業所加算及び中山間地域に居住する者へのサービス提供加算の算定対象地域に含まれることを明確化する。【告示改正】

**基準**

	算定要件	単位数	
特別地域加算	別に厚生労働大臣が定める地域(※1)に所在する事業所が、サービス提供を行った場合	所定単位数に15/100を乗じた単位数	※1：①離島振興対策実施地域、②奄美群島、③振興山村、④小笠原諸島、⑤沖縄の離島、⑥豪雪地帯、特別豪雪地帯、辺地、 <b>過疎地域</b> 等であって、人口密度が希薄、交通が不便等の理由によりサービスの確保が著しく困難な地域 ※2：①豪雪地帯及び特別豪雪地帯、②辺地、③半島振興対策実施地域、④特定農山村、 <b>⑤過疎地域</b> ※3：①離島振興対策実施地域、②奄美群島、③豪雪地帯及び特別豪雪地帯、④辺地、⑤振興山村、⑥小笠原諸島、⑦半島振興対策実施地域、⑧特定農山村地域、 <b>⑨過疎地域</b> 、⑩沖縄の離島
中山間地域等における小規模事業所加算	別に厚生労働大臣が定める地域(※2)に所在する事業所が、サービス提供を行った場合	所定単位数に10/100を乗じた単位数	
中山間地域等に居住する者へのサービス提供加算	別に厚生労働大臣が定める地域(※3)に居住する利用者に対し、通常の事業の実施地域を越えて、サービス提供を行った場合	所定単位数に5/100を乗じた単位数	

○ 厚生労働大臣が定める中山間地域等の地域(平成21年厚生労働省告示第83号)及び厚生労働大臣が定める地域(平成24年厚生労働省告示第120号)の規定を以下のように改正する。

<現行> 過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法(令和三年法律第十九号)第二条第一項に規定する過疎地域

<改定後> 過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法(令和三年法律第十九号)第二条第二項により公示された過疎地域

## 5. ⑤ 通所系サービスにおける送迎に係る取扱いの明確化

### 概要

【通所介護、地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護★、通所リハビリテーション★、療養通所介護】

- 通所系サービスにおける送迎について、利便性の向上や運転専任職の人材不足等に対応する観点から、送迎先について利用者の居住実態のある場所を含めるとともに、他の介護事業所や障害福祉サービス事業所の利用者との同乗を可能とする。【Q&A発出】

### 算定要件等

(送迎の範囲について)

- 利用者の送迎について、利用者の自宅と事業所間の送迎を原則とするが、運営上支障が無く、利用者の居住実態（例えば、近隣の親戚の家）がある場所に限り、当該場所への送迎を可能とする。

(他介護事業所利用者との同乗について)

- 介護サービス事業所において、他事業所の従業員が自事業所と雇用契約を結び、自事業所の従業員として送迎を行う場合や、委託契約において送迎業務を委託している場合（共同での委託を含む）には、責任の所在等を明確にした上で、他事業所の利用者との同乗を可能とする。

(障害福祉サービス利用者との同乗について)

- 障害福祉サービス事業所が介護サービス事業所と雇用契約や委託契約（共同での委託を含む）を結んだ場合においても、責任の所在等を明確にした上で、障害福祉サービス事業所の利用者も同乗することを可能とする。

※ なお、この場合の障害福祉サービス事業所とは、同一敷地内事業所や併設・隣接事業所など、利用者の利便性を損なわない範囲内の事業所とする。

153

## 2. (4)療養通所介護

### 改定事項

- 療養通所介護 基本報酬
- ① 1(3)④療養通所介護における医療ニーズを有する中重度者の短期利用の推進
- ② 1(3)⑤療養通所介護における重度者への安定的なサービス提供体制の評価
- ③ 1(5)④業務継続計画未策定事業所に対する減算の導入
- ④ 1(6)①高齢者虐待防止の推進
- ⑤ 1(6)②身体的拘束等の適正化の推進
- ⑥ 3(1)①介護職員処遇改善加算・介護職員等特定処遇改善加算・介護職員等ベースアップ等支援加算の一本化
- ⑦ 3(2)①テレワークの取扱い
- ⑧ 3(2)⑧外国人介護人材に係る人員配置基準上の取扱いの見直し
- ⑨ 5②特別地域加算、中山間地域等の小規模事業所加算及び中山間地域に居住する者へのサービス提供加算の対象地域の明確化
- ⑩ 5⑤通所系サービスにおける送迎に係る取扱いの明確化

単位数

○地域密着型通所介護（1回あたり）※7時間以上8時間未満の場合

	< 現行 >	< 改定後 >
要介護1	750単位	753単位
要介護2	887単位	890単位
要介護3	1,028単位	1,032単位
要介護4	1,168単位	1,172単位
要介護5	1,308単位	1,312単位

○療養通所介護

	< 現行 >	< 改定後 >
療養通所介護	12,691単位	12,785単位 (1月あたり)
短期利用の場合	(新設)	1,335単位 (1日あたり)

1. (3) ④ 療養通所介護における医療ニーズを有する中重度者の短期利用の促進

概要

【療養通所介護】

○療養通所介護の利用者は医療ニーズを有する中重度者であり、包括報酬において新たに利用する際の判断が難しい場合があること、登録者以外の者が緊急に利用する必要が生じる場合があることから、中重度者が必要に応じて利用しやすくなるよう、療養通所介護の基本報酬に短期利用型の新たな区分を設ける。【告示改正】

単位数

< 現行 > なし	▶	< 改定後 > 短期利用療養通所介護費（1日につき） 1,335単位（新設）
--------------	---	---

算定要件等

○短期利用療養通所介護費を算定すべき指定療養通所介護の基準（新設）

次に掲げる基準のいずれにも適合すること。

イ 利用者の状態や利用者の家族等の事情により、指定居宅介護支援事業所の介護支援専門員が、緊急に利用することが必要と認めた場合であること。

ロ 利用の開始に当たって、あらかじめ7日以内（利用者の日常生活上の世話をを行う家族等の疾病等やむを得ない事情がある場合は14日以内）の利用期間を定めること。

ハ 指定地域密着型サービス基準第40条に定める従業者の員数を置いていること。

ニ 当該指定療養通所介護事業所が療養通所介護費の減算（※）を算定していないこと。

※入浴介助を行わない場合に所定単位数の95/100で算定、過少サービスの場合に所定単位数の70/100で算定

# 1. (3) ⑤ 療養通所介護における重度者への安定的なサービス提供体制の評価

## 概要

【療養通所介護】

- 主に中重度の利用者を対象とする療養通所介護について、介護度に関わらず一律の包括報酬である一方、重度の利用者を受け入れるにあたっては特に手厚い人員体制、管理体制等が必要となることから、安定的に重度の利用者へのサービスを提供するための体制を評価する新たな加算を設ける。【告示改正】

## 単位数

<現行>  
なし



<改定後>  
**重度者ケア体制加算** 150単位/月 (新設)

## 算定要件等

- 療養通所介護費における重度者ケア体制加算の基準 (新設)
    - 次のいずれにも適合すること。
      - イ 指定地域密着型サービス基準第40条第2項に規定する看護師の員数に加え、看護職員を常勤換算方法で3以上確保していること。
      - ロ 指定療養通所介護従業者のうち、保健師助産師看護師法第37条の2第2項第5号に規定する指定研修機関において行われる研修等(※)を修了した看護師を1以上確保していること。
      - ハ 指定療養通所介護事業者が指定訪問看護事業者の指定を併せて受け、かつ、一体的に事業を実施していること。
- ※ 認定看護師教育課程、専門看護師教育課程、特定行為に係る看護師の研修制度により厚生労働大臣が指定する指定研修機関において行われる研修

19

# 1. (5) ④ 業務継続計画未策定事業所に対する減算の導入

## 概要

【全サービス(居宅療養管理指導★、特定福祉用具販売★を除く)】

- 感染症や災害が発生した場合であっても、必要な介護サービスを継続的に提供できる体制を構築するため、業務継続に向けた計画の策定の徹底を求める観点から、感染症若しくは災害のいずれか又は両方の業務継続計画が未策定の場合、基本報酬を減算する。【告示改正】

## 単位数

<現行>  
なし



<改定後>  
**業務継続計画未実施減算**  
**施設・居住系サービス** 所定単位数の100分の3に相当する単位数を減算 (新設)  
**その他のサービス** 所定単位数の100分の1に相当する単位数を減算 (新設)

※ 平成18年度に施設・居住系サービスに身体拘束廃止未実施減算を導入した際は、5単位/日減算であったが、各サービス毎に基本サービス費や算定方式が異なることを踏まえ、定率で設定。なお、その他サービスは、所定単位数から平均して7単位程度/(日・回)の減算となる。

## 算定要件等

- 以下の基準に適合していない場合 (新設)
  - ・ 感染症や非常災害の発生時において、利用者に対するサービスの提供を継続的に実施するための、及び非常時の体制で早期の業務再開を図るための計画(業務継続計画)を策定すること
  - ・ 当該業務継続計画に従い必要な措置を講ずること
- ※ 令和7年3月31日までの間、感染症の予防及びまん延の防止のための指針の整備及び非常災害に関する具体的計画の策定を行っている場合には、減算を適用しない。訪問系サービス、福祉用具貸与、居宅介護支援については、令和7年3月31日までの間、減算を適用しない。
- 1年間の経過措置期間中に全ての事業所で計画が策定されるよう、事業所間の連携により計画策定を行って差し支えない旨を周知することも含め、小規模事業所の計画策定支援に引き続き取り組むほか、介護サービス情報公表システムに登録すべき事項に業務継続計画に関する取組状況を追加する等、事業所への働きかけを強化する。また、県別の計画策定状況を公表し、指定権者による取組を促すとともに、業務継続計画を策定済みの施設・事業所についても、地域の特性に合わせた実効的な内容となるよう、指定権者による継続的な指導を求める。

## 1. (6) ① 高齢者虐待防止の推進①

### 概要

【全サービス（居宅療養管理指導★、特定福祉用具販売★を除く）】

- 利用者の人権の擁護、虐待の防止等をより推進する観点から、全ての介護サービス事業者（居宅療養管理指導及び特定福祉用具販売を除く。）について、虐待の発生又はその再発を防止するための措置（虐待の発生又はその再発を防止するための委員会の開催、指針の整備、研修の実施、担当者を定めること）が講じられていない場合に、基本報酬を減算する。その際、福祉用具貸与については、そのサービス提供の様相が他サービスと異なること等を踏まえ、3年間の経過措置期間を設けることとする。【告示改正】
- 施設におけるストレス対策を含む高齢者虐待防止に向けた取組例を収集し、周知を図るほか、国の補助により都道府県が実施している事業において、ハラスメント等のストレス対策に関する研修を実施できることや、同事業による相談窓口について、高齢者本人とその家族だけでなく介護職員等も利用できることを明確化するなど、高齢者虐待防止に向けた施策の充実を図る。

### 単位数

< 現行 >  
なし

< 改定後 >

**高齢者虐待防止措置未実施減算** 所定単位数の100分の1に相当する単位数を減算（新設）

※ 平成18年度に施設・居住系サービスに身体拘束廃止未実施減算を導入した際は、5単位/日減算であったが、各サービス毎に基本サービス費や算定方式が異なることを踏まえ、定率で設定。なお、所定単位数から平均して7単位程度/（日・回）の減算となる。

### 算定要件等

- 虐待の発生又はその再発を防止するための以下の措置が講じられていない場合（新設）
  - ・ 虐待の防止のための対策を検討する委員会（テレビ電話装置等の活用可能）を定期的で開催するとともに、その結果について、従業者に周知徹底を図ること。
  - ・ 虐待の防止のための指針を整備すること。
  - ・ 従業者に対し、虐待の防止のための研修を定期的実施すること。
  - ・ 上記措置を適切に実施するための担当者を置くこと。

49

## 1. (6) ① 高齢者虐待防止の推進②

### 算定要件等

- 全ての施設・事業所で虐待防止措置が適切に行われるよう、令和6年度中に小規模事業所等における取組事例を周知するほか、介護サービス情報公表システムに登録すべき事項に虐待防止に関する取組状況を追加する。また、指定権者に対して、集団指導等の機会等にて虐待防止措置の実施状況を把握し、未実施又は集団指導等に不参加の事業者に対する集中的な指導を行うなど、高齢者虐待防止に向けた取組の強化を求めるとともに、都道府県別の体制整備の状況を周知し、更なる取組を促す。



# 1. (6) ② 身体的拘束等の適正化の推進①

## 概要

【ア：短期入所系サービス★、多機能系サービス★、イ：訪問系サービス★、通所系サービス★、福祉用具貸与★、特定福祉用具販売★、居宅介護支援★】

- 身体的拘束等の更なる適正化を図る観点から、以下の見直しを行う。
  - ア 短期入所系サービス及び多機能系サービスについて、身体的拘束等の適正化のための措置（委員会の開催等、指針の整備、研修の定期的な実施）を義務付ける。【省令改正】また、身体的拘束等の適正化のための措置が講じられていない場合は、基本報酬を減算する。その際、1年間の経過措置期間を設けることとする。【告示改正】
  - イ 訪問系サービス、通所系サービス、福祉用具貸与、特定福祉用具販売及び居宅介護支援について、利用者又は他の利用者等の生命又は身体を保護するため緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等を行ってはならないこととし、身体的拘束等を行う場合には、その態様及び時間、その際の利用者の心身の状況並びに緊急やむを得ない理由を記録することを義務付ける。【省令改正】

## 基準

- 短期入所系サービス及び多機能系サービスの運営基準に以下の措置を講じなければならない旨を規定する。
  - ・ 身体的拘束等の適正化のための対策を検討する委員会を3月に1回以上開催するとともに、その結果について、介護職員その他従業者に周知徹底を図ること。
  - ・ 身体的拘束等の適正化のための指針を整備すること。
  - ・ 介護職員その他の従業者に対し、身体的拘束等の適正化のための研修を定期的実施すること。
- 訪問系サービス、通所系サービス、福祉用具貸与、特定福祉用具販売及び居宅介護支援の運営基準に以下を規定する。
  - ・ 利用者又は他の利用者等の生命又は身体を保護するため緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等を行ってはならないこと。
  - ・ 身体的拘束等を行う場合には、その態様及び時間、その際の利用者の心身の状況並びに緊急やむを得ない理由を記録しなければならないこと。

51

# 3. (1) ① 介護職員の処遇改善①

## 概要

【訪問介護、訪問入浴介護★、通所介護、地域密着型通所介護、療養通所介護、認知症対応型通所介護★、通所リハビリテーション★、短期入所生活介護★、短期入所療養介護★、特定施設入居者生活介護★、地域密着型特定施設入居者生活介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、夜間対応型訪問介護、小規模多機能型居宅介護★、認知症対応型共同生活介護★、看護小規模多機能型居宅介護、介護老人福祉施設、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護、介護老人保健施設、介護医療院】

- 介護現場で働く方々にとって、令和6年度に2.5%、令和7年度に2.0%のベースアップへと確実につながるよう加算率の引き上げを行う。
- 介護職員等の確保に向けて、介護職員の処遇改善のための措置ができるだけ多くの事業所に活用されるよう推進する観点から、介護職員処遇改善加算、介護職員等特定処遇改善加算、介護職員等ベースアップ等支援加算について、現行の各加算・各区分の要件及び加算率を組み合わせた4段階の「介護職員等処遇改善加算」に一本化を行う。
  - ※ 一本化後の加算については、事業所内での柔軟な職種間配分を認める。また、人材確保に向けてより効果的な要件とする等の観点から、月額賃金の改善に関する要件及び職場環境等要件を見直す。【告示改正】

## 単位数

※介護職員等処遇改善加算を除く加減算後の総報酬単位数に以下の加算率を乗じる。加算率はサービス毎の介護職員の常勤換算職員数に基づき設定。

サービス区分	介護職員等処遇改善加算			
	I	II	III	IV
訪問介護・夜間対応型訪問介護・定期巡回・随時対応型訪問介護看護	24.5%	22.4%	18.2%	14.5%
訪問入浴介護★	10.0%	9.4%	7.9%	6.3%
通所介護・地域密着型通所介護	9.2%	9.0%	8.0%	6.4%
通所リハビリテーション★	8.6%	8.3%	6.6%	5.3%
特定施設入居者生活介護★・地域密着型特定施設入居者生活介護	12.8%	12.2%	11.0%	8.8%
認知症対応型通所介護★	18.1%	17.4%	15.0%	12.2%
小規模多機能型居宅介護★・看護小規模多機能型居宅介護	14.9%	14.6%	13.4%	10.6%
認知症対応型共同生活介護★	18.6%	17.8%	15.5%	12.5%
介護老人福祉施設・地域密着型介護老人福祉施設・短期入所生活介護★	14.0%	13.6%	11.3%	9.0%
介護老人保健施設・短期入所療養介護（介護老人保健施設）★	7.5%	7.1%	5.4%	4.4%
介護医療院・短期入所療養介護（介護医療院）★・短期入所療養介護（病院等）★	5.1%	4.7%	3.6%	2.9%

(注) 令和6年度末までの経過措置期間を設け、経過措置期間中は、現行の3加算の取得状況に基づく加算率を維持した上で、今般の改定による加算率の引き上げを受けることができるようにすることなどの激変緩和措置を講じる。

### 3. (1) ① 介護職員の処遇改善②

#### 算定要件等

- 一本化後の新加算全体について、職種に着目した配分ルールは設けず、事業所内で柔軟な配分を認める。
- 新加算のいずれの区分を取得している事業所においても、新加算Ⅳの加算額の1/2以上を月額賃金の改善に充てることを要件とする。  
※ それまでベースアップ等支援加算を取得していない事業所が、一本化後の新加算を新たに取得する場合には、収入として新たに増加するベースアップ等支援加算相当分の加算額については、その2/3以上を月額賃金の改善として新たに配分することを求める。

加算率(※)	既存の要件は黒字、新規・修正する要件は赤字		対応する現行の加算等(※)	新加算の趣旨
【24.5%】	新加算 (介護職員等 処遇改善加算)	Ⅰ <b>新加算(Ⅱ)に加え、以下の要件を満たすこと。</b> ・ 経験技能のある介護職員を事業所内で一定割合以上配置していること(訪問介護の場合、介護福祉士30%以上)	a. 処遇改善加算(Ⅰ)【13.7%】 b. 特定処遇加算(Ⅰ)【6.3%】 c. ベースアップ等支援加算【2.4%】	事業所内の経験・技能のある職員を充実
【22.4%】		Ⅱ <b>新加算(Ⅲ)に加え、以下の要件を満たすこと。</b> ・ 改善後の賃金年額440万円以上が1人以上 ・ 職場環境の更なる改善、見える化【見直し】 <del>グループごとの配分ルール【撤廃】</del>	a. 処遇改善加算(Ⅰ)【13.7%】 b. 特定処遇加算(Ⅱ)【4.2%】 c. ベースアップ等支援加算【2.4%】	総合的な職場環境改善による職員の定着促進
【18.2%】		Ⅲ <b>新加算(Ⅳ)に加え、以下の要件を満たすこと。</b> ・ 資格や勤続年数等に応じた昇給の仕組みの整備	a. 処遇改善加算(Ⅰ)【13.7%】 b. ベースアップ等支援加算【2.4%】	資格や経験に応じた昇給の仕組みの整備
【14.5%】		Ⅳ <b>新加算(Ⅳ)の1/2(7.2%)以上を月額賃金で配分</b> ・ 職場環境の改善(職場環境等要件)【見直し】 ・ 賃金体系等の整備及び研修の実施等	a. 処遇改善加算(Ⅱ)【10.0%】 b. ベースアップ等支援加算【2.4%】	介護職員の基本的な待遇改善・ベースアップ等

※：加算率は訪問介護のものを例として記載。

新加算(Ⅰ～Ⅳ)は、加算・賃金改善額の職種間配分ルールを統一。(介護職員への配分を基本とし、特に経験・技能のある職員に重点的に配分することとするが、事業所内で柔軟な配分を認める。)

108

### 3. (2) ① テレワークの取扱い

#### 概要

【全サービス(居宅療養管理指導★を除く。)]

- 人員配置基準等で具体的な必要数を定めて配置を求めている職種のテレワークに関して、個人情報適切に管理していること、利用者の処遇に支障が生じないこと等を前提に、取扱いの明確化を行い、職種や業務ごとに具体的な考え方を示す。【通知改正】

### 3. (2) ⑧ 外国人介護人材に係る人員配置基準上の取扱いの見直し

#### 概要

【通所系サービス★、短期入所系サービス★、居住系サービス★、多機能系サービス★、施設系サービス】

- 就労開始から6月未満のEPA介護福祉士候補者及び技能実習生（以下「外国人介護職員」という。）については、日本語能力試験N1又はN2に合格した者を除き、両制度の目的を考慮し、人員配置基準への算入が認められていないが、就労開始から6月未満であってもケアの習熟度が一定に達している外国人介護職員がいる実態なども踏まえ、人員配置基準に係る取扱いについて見直しを行う。

具体的には、外国人介護職員の日本語能力やケアの習熟度に個人差があることを踏まえ、事業者が、外国人介護職員の日本語能力や指導の実施状況、管理者や指導職員等の意見等を勘案し、当該外国人介護職員を人員配置基準に算入することについて意思決定を行った場合には、就労開始直後から人員配置基準に算入して差し支えないこととする。【告示改正】

その際、適切な指導及び支援を行う観点、安全体制の整備の観点から、以下の要件を設ける。

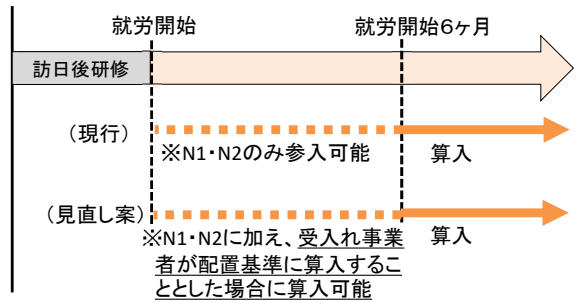
ア 一定の経験のある職員とチームでケアを行う体制とすること。

イ 安全対策担当者の配置、指針の整備や研修の実施など、組織的に安全対策を実施する体制を整備していること。  
併せて、両制度の趣旨を踏まえ、人員配置基準への算入の有無にかかわらず、研修又は実習のための指導職員の配置や、計画に基づく技能等の修得や学習への配慮など、法令等に基づき、受入れ施設において適切な指導及び支援体制の確保が必要であることを改めて周知する。

#### 算定要件等

次のいずれかに該当するものについては、職員等の配置の基準を定める法令の適用について職員等とみなしても差し支えないこととする。

- ・ 受入れ施設において就労を開始した日から6月を経過した外国人介護職員
- ・ 受入れ施設において就労を開始した日から6月を経過していない外国人介護職員であって、受入れ施設（適切な研修体制及び安全管理体制が整備されているものに限る。）に係る事業を行う者が当該外国人介護職員の日本語の能力及び研修の実施状況並びに当該受入れ施設の管理者、研修責任者その他の職員の意見等を勘案し、当該外国人介護職員を職員等の配置の基準を定める法令の適用について職員等とみなすこととしたもの
- ・ 日本語能力試験N1又はN2に合格した者



118

### 5. ② 特別地域加算、中山間地域等の小規模事業所加算及び中山間地域に居住する者へのサービス提供加算の対象地域の明確化

#### 概要

【訪問系サービス★、通所系サービス★、多機能系サービス★、福祉用具貸与★、居宅介護支援】

- 過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法において、「過疎地域」とみなして同法の規定を適用することとされている地域等が、特別地域加算、中山間地域等の小規模事業所加算及び中山間地域に居住する者へのサービス提供加算の算定対象地域に含まれることを明確化する。【告示改正】

#### 基準

	算定要件	単位数
特別地域加算	別に厚生労働大臣が定める地域（※1）に所在する事業所が、サービス提供を行った場合	所定単位数に15/100を乗じた単位数
中山間地域等における小規模事業所加算	別に厚生労働大臣が定める地域（※2）に所在する事業所が、サービス提供を行った場合	所定単位数に10/100を乗じた単位数
中山間地域等に居住する者へのサービス提供加算	別に厚生労働大臣が定める地域（※3）に居住する利用者に対し、通常の事業の実施地域を越えて、サービス提供を行った場合	所定単位数に5/100を乗じた単位数

- ※1：①離島振興対策実施地域、②奄美群島、③振興山村、④小笠原諸島、⑤沖縄の離島、⑥豪雪地帯、特別豪雪地帯、辺地、**過疎地域**等であって、人口密度が希薄、交通が不便等の理由によりサービスの確保が著しく困難な地域
- ※2：①豪雪地帯及び特別豪雪地帯、②辺地、③半島振興対策実施地域、④特定農山村、**⑤過疎地域**
- ※3：①離島振興対策実施地域、②奄美群島、③豪雪地帯及び特別豪雪地帯、④辺地、⑤振興山村、⑥小笠原諸島、⑦半島振興対策実施地域、⑧特定農山村地域、**⑨過疎地域**、⑩沖縄の離島

- 厚生労働大臣が定める中山間地域等の地域（平成21年厚生労働省告示第83号）及び厚生労働大臣が定める地域（平成24年厚生労働省告示第120号）の規定を以下のように改正する。

< 現行 >

過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法(令和三年法律第十九号)第二条第一項に規定する過疎地域



< 改正後 >

過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法(令和三年法律第十九号)第二条第二項により公示された過疎地域

## 5. ⑤ 通所系サービスにおける送迎に係る取扱いの明確化

### 概要

【通所介護、地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護★、通所リハビリテーション★、療養通所介護】

- 通所系サービスにおける送迎について、利便性の向上や運転専任職の人材不足等に対応する観点から、送迎先について利用者の居住実態のある場所を含めるとともに、他の介護事業所や障害福祉サービス事業所の利用者との同乗を可能とする。【Q&A発出】

### 算定要件等

(送迎の範囲について)

- 利用者の送迎について、利用者の自宅と事業所間の送迎を原則とするが、運営上支障が無く、利用者の居住実態（例えば、近隣の親戚の家）がある場所に限り、当該場所への送迎を可能とする。

(他介護事業所利用者との同乗について)

- 介護サービス事業所において、他事業所の従業員が自事業所と雇用契約を結び、自事業所の従業員として送迎を行う場合や、委託契約において送迎業務を委託している場合（共同での委託を含む）には、責任の所在等を明確にした上で、他事業所の利用者との同乗を可能とする。

(障害福祉サービス利用者との同乗について)

- 障害福祉サービス事業所が介護サービス事業所と雇用契約や委託契約（共同での委託を含む）を結んだ場合においても、責任の所在等を明確にした上で、障害福祉サービス事業所の利用者も同乗することを可能とする。

※ なお、この場合の障害福祉サービス事業所とは、同一敷地内事業所や併設・隣接事業所など、利用者の利便性を損なわない範囲内の事業所とする。

# 介護報酬の算定構造

## 介護サービス

**令和6年4月改定箇所**

### I 指定居宅サービス介護給付費単位数の算定構造

- 1 訪問介護費
- 2 訪問入浴介護費
- 3 訪問看護費
- 4 訪問リハビリテーション費
- 5 居宅療養管理指導費
- 6 通所介護費
- 7 通所リハビリテーション費
- 8 短期入所生活介護費
- 9 短期入所療養介護費
  - イ 介護老人保健施設における短期入所療養介護費
  - ロ 療養病床を有する病院における短期入所療養介護費
  - ハ 診療所における短期入所療養介護費

#### ニ (削除)

- ホ 介護医療院における短期入所療養介護費
- 10 特定施設入居者生活介護費
- 11 福祉用具貸与費

### II 指定居宅介護支援介護給付費単位数の算定構造

居宅介護支援費

### III 指定施設サービス等介護給付費単位数の算定構造

- 1 介護福祉施設サービス
- 2 介護保健施設サービス

#### 3 (削除)

- 4 介護医療院サービス





# 介護報酬の算定構造

## 地域密着型サービス

: 令和6年4月改定箇所

### I 指定地域密着型サービス介護給付費単位数の算定構造

- 1 定期巡回・随時対応型訪問介護看護費
- 2 夜間対応型訪問介護費
- 2-2 地域密着型通所介護費
- 3 認知症対応型通所介護費
- 4 小規模多機能型居宅介護費
- 5 認知症対応型共同生活介護費
- 6 地域密着型特定施設入居者生活介護費
- 7 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
- 8 複合型サービス費

### II 指定地域密着型介護予防サービス介護給付費単位数の算定構造

- 1 介護予防認知症対応型通所介護費
- 2 介護予防小規模多機能型居宅介護費
- 3 介護予防認知症対応型共同生活介護費

基本単位		介護職員1名当たり1時間あたり		介護職員2名当たり1時間あたり		介護職員3名当たり1時間あたり		介護職員4名当たり1時間あたり		介護職員5名当たり1時間あたり		介護職員6名当たり1時間あたり		介護職員7名当たり1時間あたり		介護職員8名当たり1時間あたり		介護職員9名当たり1時間あたり		介護職員10名当たり1時間あたり		介護職員11名当たり1時間あたり		介護職員12名当たり1時間あたり		介護職員13名当たり1時間あたり		介護職員14名当たり1時間あたり		介護職員15名当たり1時間あたり		介護職員16名当たり1時間あたり		介護職員17名当たり1時間あたり		介護職員18名当たり1時間あたり		介護職員19名当たり1時間あたり		介護職員20名当たり1時間あたり	
4 地域 密着 型 通 所 介護	(1) 3時間以上4時間未満	要介護1	1,120	単位	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	
		要介護2	1,120	単位																																					
		要介護3	1,120	単位																																					
		要介護4	1,120	単位																																					
	(2) 4時間以上5時間未満	要介護1	1,120	単位	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100			
		要介護2	1,120	単位																																					
		要介護3	1,120	単位																																					
		要介護4	1,120	単位																																					
	(3) 5時間以上6時間未満	要介護1	1,120	単位	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100			
		要介護2	1,120	単位																																					
		要介護3	1,120	単位																																					
		要介護4	1,120	単位																																					
	(4) 6時間以上7時間未満	要介護1	1,120	単位	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100			
		要介護2	1,120	単位																																					
		要介護3	1,120	単位																																					
		要介護4	1,120	単位																																					
	(5) 7時間以上8時間未満	要介護1	1,120	単位	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100			
		要介護2	1,120	単位																																					
		要介護3	1,120	単位																																					
		要介護4	1,120	単位																																					
(6) 8時間以上9時間未満	要介護1	1,120	単位	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100	+	70/100				
	要介護2	1,120	単位																																						
	要介護3	1,120	単位																																						
	要介護4	1,120	単位																																						
介護職員1名当たり1時間あたり		1,120	単位																																						
介護職員2名当たり1時間あたり		2,240	単位																																						
介護職員3名当たり1時間あたり		3,360	単位																																						
介護職員4名当たり1時間あたり		4,480	単位																																						
介護職員5名当たり1時間あたり		5,600	単位																																						
介護職員6名当たり1時間あたり		6,720	単位																																						
介護職員7名当たり1時間あたり		7,840	単位																																						
介護職員8名当たり1時間あたり		8,960	単位																																						
介護職員9名当たり1時間あたり		10,080	単位																																						
介護職員10名当たり1時間あたり		11,200	単位																																						
介護職員11名当たり1時間あたり		12,320	単位																																						
介護職員12名当たり1時間あたり		13,440	単位																																						
介護職員13名当たり1時間あたり		14,560	単位																																						
介護職員14名当たり1時間あたり		15,680	単位																																						
介護職員15名当たり1時間あたり		16,800	単位																																						
介護職員16名当たり1時間あたり		17,920	単位																																						
介護職員17名当たり1時間あたり		19,040	単位																																						
介護職員18名当たり1時間あたり		20,160	単位																																						
介護職員19名当たり1時間あたり		21,280	単位																																						
介護職員20名当たり1時間あたり		22,400	単位																																						

# 介護報酬の算定構造

## 介護サービス

: 令和6年6月改定箇所

### I 指定居宅サービス介護給付費単位数の算定構造

- 1 訪問介護費
- 2 訪問入浴介護費
- 3 訪問看護費
- 4 訪問リハビリテーション費
- 5 居宅療養管理指導費
- 6 通所介護費
- 7 通所リハビリテーション費
- 8 短期入所生活介護費
- 9 短期入所療養介護費
  - イ 介護老人保健施設における短期入所療養介護費
  - ロ 療養病床を有する病院における短期入所療養介護費
  - ハ 診療所における介護予防短期入所療養介護費
  - ニ (削除)
  - ホ 介護医療院における短期入所療養介護費
- 10 特定施設入居者生活介護費
- 11 福祉用具貸与費

### II 指定居宅介護支援介護給付費単位数の算定構造

居宅介護支援費

### III 指定施設サービス等介護給付費単位数の算定構造

- 1 介護福祉施設サービス
- 2 介護保健施設サービス
- 3 (削除)
- 4 介護医療院サービス

6 通所介護費

基本部分	利用者 が利用 定員を超 える場合	看護・介 護職員 の人数が 基準に達 しない場合	高齢者等 が利用定 員を超えて いる場合	業務継続 計画未遂 定減算	2時間以 上5時間 未満の通 所介護を 行う場合	感染症文 は医療の 必要を生 ずる利用 者数が一 定以上に 達している 場合	8時間以 上9時間 未満の通 所介護を 行う場合	共生型通 所介護を 行う場合	生活相談 員配置等 加算	中山間地 域等に居 住する者 へのカー ナビ提供 加算	入浴介助 加算(Ⅰ)	入浴介助 加算(Ⅱ)	中度者 ケア体制 加算	生活機能 向上支援 加算(Ⅰ)	生活機能 向上支援 加算(Ⅱ)	個別機能 別加算 (Ⅰ)イ	個別機能 別加算 (Ⅰ)ロ	個別機能 別加算 (Ⅱ)	ADL維持 等加算 (Ⅰ)	ADL維持 等加算 (Ⅱ)	認知症加 算	若年性認 知症利用 者受入加 算	栄養アセ メント加 算	栄養改善 加算	口腔・求 養スリー ミング加 算(Ⅰ)	口腔・求 養スリー ミング加 算(Ⅱ)	口腔機能 向上加算 (Ⅰ)	口腔機能 向上加算 (Ⅱ)	科学的介 護推進 加算	事業所と 同一建物 に同居す る者又は 同一建物 から利用 する者に 通所介護 を行う場合	事業所が 認定を行 わない場 合	
イ 通常規模型通所介護費	(1) 3時間以上4時間未満	第1号 (370 単位)	×70/100																													
		第2号 (423 単位)																														
		第3号 (479 単位)																														
	(2) 4時間以上5時間未満	第1号 (388 単位)																														
		第2号 (444 単位)																														
		第3号 (502 単位)																														
	(3) 5時間以上6時間未満	第1号 (570 単位)																														
		第2号 (673 単位)																														
		第3号 (777 単位)																														
	(4) 6時間以上7時間未満	第1号 (880 単位)																														
		第2号 (984 単位)																														
		第3号 (1,088 単位)																														
	(5) 7時間以上8時間未満	第1号 (658 単位)																														
		第2号 (777 単位)																														
		第3号 (900 単位)																														
	(6) 8時間以上9時間未満	第1号 (1,023 単位)																														
		第2号 (1,148 単位)																														
		第3号 (1,273 単位)																														
ロ 大規模型通所介護費(Ⅰ)	(1) 3時間以上4時間未満	第1号 (359 単位)	×70/100	-1/100	-1/100	+3/100	指定生活介護事業所が行う場合 ×93/100	指定自立型介護事業所が行う場合 ×95/100	指定児童発達支援事業所が行う場合 ×90/100	指定放課後児童サービス事業所が行う場合 ×90/100	1日につき +40単位	1日につき +55単位	1日につき +45単位	1月につき +100単位 (3月1日を限度)	※ただし、個別機能別加算を算定している場合は、1月につき +100単位	1日につき +50単位	1日につき +76単位	1日につき +20単位	1月につき +30単位	1月につき +60単位	1日につき +60単位	1月につき +60単位	1月につき +50単位	1日につき +200単位 (月2回を限度)	1日につき +5単位 (6月に1回を限度)	1日につき +150単位 (月2回を限度)	1日につき +160単位 (月2回を限度)	1日につき +40単位	1日につき +94単位	1日につき +47単位		
		第2号 (409 単位)																														
		第3号 (462 単位)																														
	(2) 4時間以上5時間未満	第1号 (513 単位)																														
		第2号 (568 単位)																														
		第3号 (623 単位)																														
	(3) 5時間以上6時間未満	第1号 (376 単位)																														
		第2号 (430 単位)																														
		第3号 (486 単位)																														
	(4) 6時間以上7時間未満	第1号 (544 単位)																														
		第2号 (643 単位)																														
		第3号 (743 単位)																														
	(5) 7時間以上8時間未満	第1号 (840 単位)																														
		第2号 (940 単位)																														
		第3号 (1,041 単位)																														
	(6) 8時間以上9時間未満	第1号 (667 単位)																														
		第2号 (770 単位)																														
		第3号 (874 単位)																														
ハ 大規模型通所介護費(Ⅱ)	(1) 3時間以上4時間未満	第1号 (345 単位)	×70/100																													
		第2号 (395 単位)																														
		第3号 (446 単位)																														
	(2) 4時間以上5時間未満	第1号 (495 単位)																														
		第2号 (549 単位)																														
		第3号 (604 単位)																														
	(3) 5時間以上6時間未満	第1号 (362 単位)																														
		第2号 (414 単位)																														
		第3号 (468 単位)																														
	(4) 6時間以上7時間未満	第1号 (521 単位)																														
		第2号 (575 単位)																														
		第3号 (629 単位)																														
	(5) 7時間以上8時間未満	第1号 (629 単位)																														
		第2号 (744 単位)																														
		第3号 (861 単位)																														
	(6) 8時間以上9時間未満	第1号 (980 単位)																														
		第2号 (1,097 単位)																														
		第3号 (1,217 単位)																														

<p>(1) サービス提供体制強化加算(Ⅰ) (1回につき 22単位を加算)</p> <p>(2) サービス提供体制強化加算(Ⅱ) (1回につき 18単位を加算)</p> <p>(3) サービス提供体制強化加算(Ⅲ) (1回につき 6単位を加算)</p>	<p>「感染症又は災害の発生を理由とする利用者の減少が一定以上に達している場合」</p> <p>※ 2又は3を算定する場合は、支給限度基準額の算定に、その単位数を算入</p> <p>※ 業務継続計画未遂定減算については、感染症の予防及びまん延の防止のための指針の整備及び非常災害に関する具体的計画の策定を行っている場合に、令和2年3月31日までの特例適用。</p>
---	--



# 介護報酬の算定構造

## 地域密着型サービス

: 令和6年6月改定箇所

### I 指定地域密着型サービス介護給付費単位数の算定構造

- 1 定期巡回・随時対応型訪問介護看護費
- 2 夜間対応型訪問介護費
- 2-2 地域密着型通所介護費
- 3 認知症対応型通所介護費
- 4 小規模多機能型居宅介護費
- 5 認知症対応型共同生活介護費
- 6 地域密着型特定施設入居者生活介護費
- 7 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
- 8 複合型サービス費

### II 指定地域密着型介護予防サービス介護給付費単位数の算定構造

- 1 介護予防認知症対応型通所介護費
- 2 介護予防小規模多機能型居宅介護費
- 3 介護予防認知症対応型共同生活介護費



## 介護給付費算定に係る体制等状況一覧表(案)

**：令和6年4月改定箇所**

以下の資料は、これまでに行われた介護給付費分科会の議論等を踏まえ、厚生労働省が事務的に整理した令和6年(2024年)2月21日時点の「介護給付費算定に係る体制等状況一覧表」の案です。  
 一覧表の具体的な内容については、決定されたものでないこと及び今後見直しの可能性があり得るものであることを御了知くださいますようお願いいたします。  
 なお、提出期限等の詳細については、共通編の「熊本県・熊本市からのお知らせ①」を御参照ください。

(別紙1)

介護給付費算定に係る体制等状況一覧表(通所介護)

提供サービス		施設等の区分	人員配置区分	その 他 該 当 す る 体 制 等				LFEへの登録	割引		
各サービス共通				地域区分	その他該当する体制等						
□ 15	通所介護	□ 4 通常規模型事業所 □ 6 大規模型事業所(Ⅰ) □ 7 大規模型事業所(Ⅱ)		地域区分	□ 1 1級地	□ 6 2級地	□ 7 3級地	□ 2 4級地	□ 1 なし □ 1 なし □ 2 あり □ 2 あり		
					職員による減算の状況	□ 3 5級地	□ 4 6級地	□ 9 7級地		□ 5 その他	
						高齢者虐待防止措置実施の有無	□ 1 なし	□ 2 看護職員		□ 3 介護職員	
						業務継続計画策定の有無	□ 1 減算型	□ 2 基準型			
						感染症又は災害の発生を理由とする利用者数の減少が一定以上生じている場合の対応	□ 1 減算型	□ 2 基準型			
						感染症又は災害の発生を理由とする利用者数の減少が一定以上生じている場合の対応	□ 1 なし	□ 2 あり			
						時間延長サービス体制	□ 1 対応不可	□ 2 対応可			
						共生型サービスの提供(生活介護事業所)	□ 1 なし	□ 2 あり			
						共生型サービスの提供(自立訓練事業所)	□ 1 なし	□ 2 あり			
						共生型サービスの提供(児童発達支援事業所)	□ 1 なし	□ 2 あり			
						共生型サービスの提供(放課後等デイサービス事業所)	□ 1 なし	□ 2 あり			
						生活相談員配置等加算	□ 1 なし	□ 2 あり			
						入浴介助加算	□ 1 なし	□ 2 加算Ⅰ		□ 3 加算Ⅱ	
						中重度ケア体制加算	□ 1 なし	□ 2 あり			
						生活機能向上連携加算	□ 1 なし	□ 3 加算Ⅰ		□ 2 加算Ⅱ	
						個別機能訓練加算	□ 1 なし	□ 2 加算Ⅰ		□ 3 加算Ⅰロ	
						ADL維持等加算(申出)の有無	□ 1 なし	□ 2 あり			
						認知症加算	□ 1 なし	□ 2 あり			
						若年性認知症利用者受入加算	□ 1 なし	□ 2 あり			
						栄養アセスメント・栄養改善体制	□ 1 なし	□ 2 あり			
						口腔機能向上加算	□ 1 なし	□ 2 あり			
						科学的介護推進体制加算	□ 1 なし	□ 2 あり			
			サービス提供体制強化加算	□ 1 なし	□ 6 加算Ⅰ	□ 5 加算Ⅱ □ 7 加算Ⅲ					
			介護職員処遇改善加算	□ 1 なし	□ 6 加算Ⅰ	□ 5 加算Ⅱ □ 2 加算Ⅲ					
			介護職員等特定処遇改善加算	□ 1 なし	□ 2 加算Ⅰ	□ 3 加算Ⅱ					
			介護職員等ベースアップ等支援加算	□ 1 なし	□ 2 あり						

介護給付費算定に係る体制等状況一覧表（通所介護・主たる事業所の所在地以外の場所で一部実施する場合の出張所等の状況）

提供サービス		施設等の区分	人員配置区分	その他の該当する体制等				
各サービス共通				地域区分	<input type="checkbox"/> 1 1級地	<input type="checkbox"/> 6 2級地	<input type="checkbox"/> 7 3級地	<input type="checkbox"/> 2 4級地
					<input type="checkbox"/> 3 5級地	<input type="checkbox"/> 4 6級地	<input type="checkbox"/> 9 7級地	<input type="checkbox"/> 5 その他
□ 15 通所介護		<input type="checkbox"/> 4 通常規模型事業所 <input type="checkbox"/> 6 大規模型事業所（Ⅰ） <input type="checkbox"/> 7 大規模型事業所（Ⅱ）		職員の欠員による減算の状況	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 看護職員	<input type="checkbox"/> 3 介護職員	
				高齢者虐待防止措置実施の有無	<input type="checkbox"/> 1 減算型	<input type="checkbox"/> 2 減算型		
				高齢者虐待防止措置実施の有無	<input type="checkbox"/> 1 減算型	<input type="checkbox"/> 2 減算型		
				時間延長サービス体制	<input type="checkbox"/> 1 対応不可	<input type="checkbox"/> 2 対応可		
				共生型サービスの提供（生活介護事業所）	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 あり		
				共生型サービスの提供（自立訓練事業所）	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 あり		
				共生型サービスの提供（児童発達支援事業所）	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 あり		
				共生型サービスの提供（放課後等デイサービス事業所）	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 あり		
				生活相談員配置等加算	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 あり		
				入浴介助加算	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 加算Ⅰ	<input type="checkbox"/> 3 加算Ⅱ	
				中重度ケア体制加算	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 あり		
				生活機能向上連携加算	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 3 加算Ⅰ	<input type="checkbox"/> 2 加算Ⅱ	
				個別機能訓練加算	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 加算Ⅰイ	<input type="checkbox"/> 3 加算Ⅰロ	
				ADL維持等加算〔申出〕の有無	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 あり		
				認知症加算	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 あり		
				若年性認知症利用者受入加算	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 あり		
				栄養アセスメント・栄養改善体制	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 あり		
口腔機能向上加算	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 あり						
科学的介護推進体制加算	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 あり						

備考 1 この表は、事業所所在地以外の場所で一部事業を実施する出張所等がある場合について記載することとし、複数出張所等を有する場合は出張所ごとに提出してください。

## 介護給付費算定に係る体制等状況一覧表（案）

：令和6年6月改定箇所

以下の資料は、これまでに行われた介護給付費分科会の議論等を踏まえ、厚生労働省が事務的に整理した令和6年（2024年）2月21日時点の「介護給付費算定に係る体制等状況一覧表」の案です。

一覧表の具体的な内容については、決定されたものでないこと及び今後見直しの可能性があります。御了知くださいますようお願いいたします。

なお、提出期限等の詳細については、共通編の「熊本県・熊本市からのお知らせ①」を御参照ください。

介護給付費算定に係る体制等状況一覧表(通所介護)

提供サービス		施設等の区分	人員配置区分	その他該当する体制等				LFEへの登録	割引
各サービス共通	□ 4 通常規模型事業所 □ 6 大規模型事業所(Ⅰ) □ 7 大規模型事業所(Ⅱ)	□ 4 通常規模型事業所 □ 6 大規模型事業所(Ⅰ) □ 7 大規模型事業所(Ⅱ)	地域区分	□ 1 1級地	□ 6 2級地	□ 7 3級地	□ 2 4級地	□ 1 なし □ 2 あり	□ 1 なし □ 2 あり
			職員の欠員による減算の状況	□ 1 なし	□ 2 看護職員	□ 3 介護職員	□ 5 その他		
□ 15 通所介護	□ 4 通常規模型事業所 □ 6 大規模型事業所(Ⅰ) □ 7 大規模型事業所(Ⅱ)	□ 4 通常規模型事業所 □ 6 大規模型事業所(Ⅰ) □ 7 大規模型事業所(Ⅱ)	高齢者虐待防止措置実施の有無	□ 1 減算型	□ 2 基準型				
			業務継続計画策定の有無	□ 1 減算型	□ 2 基準型				
			感染症又は災害の発生を理由とする利用者数の減少が一定以上生じている場合の対応	□ 1 なし	□ 2 あり				
			時間延長サービス体制(生活介護事業所)	□ 1 対応不可	□ 2 対応可				
			共生型サービスの提供(自立訓練事業所)	□ 1 なし	□ 2 あり				
			共生型サービスの提供(放課後等デイサービス事業所)	□ 1 なし	□ 2 あり				
			生活相談員配置等加算	□ 1 なし	□ 2 あり				
			入浴介助加算	□ 1 なし	□ 2 加算Ⅰ	□ 3 加算Ⅱ			
			中重度者ケア体制加算	□ 1 なし	□ 2 あり				
			生活機能向上連携加算	□ 1 なし	□ 3 加算Ⅰ	□ 2 加算Ⅱ			
			個別機能訓練加算	□ 1 なし	□ 2 加算Ⅰイ	□ 3 加算Ⅰロ			
			ADL維持等加算〔申出〕の有無	□ 1 なし	□ 2 あり				
			認知症加算	□ 1 なし	□ 2 あり				
			若年性認知症利用者受入加算	□ 1 なし	□ 2 あり				
			栄養アセスメント・栄養改善体制	□ 1 なし	□ 2 あり				
			口腔機能向上加算	□ 1 なし	□ 2 あり				
			科学的介護推進体制加算	□ 1 なし	□ 2 あり				
			サービス提供体制強化加算	□ 1 なし	□ 6 加算Ⅰ	□ 5 加算Ⅱ	□ 7 加算Ⅲ		
			介護職員等知遇改善加算	□ 1 なし	□ 6 加算Ⅰ	□ 6 加算Ⅱ	□ 2 加算Ⅲ	□ 7 加算Ⅳ	
			介護職員等特定処遇改善加算	□ 1 なし	□ 9 加算Ⅱ	□ A 加算Ⅳ	□ B 加算Ⅴ(1)	□ C 加算Ⅴ(2)	□ D 加算Ⅴ(3)
			介護職員等一斉処遇改善加算	□ 1 なし	□ 9 加算Ⅱ	□ A 加算Ⅳ	□ B 加算Ⅴ(1)	□ C 加算Ⅴ(2)	□ D 加算Ⅴ(3)
			介護職員等特定処遇改善加算	□ 1 なし	□ 9 加算Ⅱ	□ A 加算Ⅳ	□ B 加算Ⅴ(1)	□ C 加算Ⅴ(2)	□ D 加算Ⅴ(3)
			介護職員等一斉処遇改善加算	□ 1 なし	□ 9 加算Ⅱ	□ A 加算Ⅳ	□ B 加算Ⅴ(1)	□ C 加算Ⅴ(2)	□ D 加算Ⅴ(3)

介護給付費算定に係る体制等状況一覧表(通所介護・主たる事業所の所在地以外の場所で一部実施する場合の出張所等の状況)

提供サービス		施設等の区分	人員配置区分	その他該当する体制等				LFEへの登録	割引
各サービス共通	□ 4 通常規模型事業所 □ 6 大規模型事業所(Ⅰ) □ 7 大規模型事業所(Ⅱ)	□ 4 通常規模型事業所 □ 6 大規模型事業所(Ⅰ) □ 7 大規模型事業所(Ⅱ)	地域区分	□ 1 1級地	□ 6 2級地	□ 7 3級地	□ 2 4級地	□ 1 なし □ 2 あり	□ 1 なし □ 2 あり
			職員の欠員による減算の状況	□ 1 なし	□ 2 看護職員	□ 3 介護職員	□ 5 その他		
□ 15 通所介護	□ 4 通常規模型事業所 □ 6 大規模型事業所(Ⅰ) □ 7 大規模型事業所(Ⅱ)	□ 4 通常規模型事業所 □ 6 大規模型事業所(Ⅰ) □ 7 大規模型事業所(Ⅱ)	高齢者虐待防止措置実施の有無	□ 1 減算型	□ 2 基準型				
			業務継続計画策定の有無	□ 1 減算型	□ 2 基準型				
			時間延長サービス体制(生活介護事業所)	□ 1 対応不可	□ 2 対応可				
			共生型サービスの提供(自立訓練事業所)	□ 1 なし	□ 2 あり				
			共生型サービスの提供(放課後等デイサービス事業所)	□ 1 なし	□ 2 あり				
			生活相談員配置等加算	□ 1 なし	□ 2 あり				
			入浴介助加算	□ 1 なし	□ 2 加算Ⅰ	□ 3 加算Ⅱ			
			中重度者ケア体制加算	□ 1 なし	□ 2 あり				
			生活機能向上連携加算	□ 1 なし	□ 3 加算Ⅰ	□ 2 加算Ⅱ			
			個別機能訓練加算	□ 1 なし	□ 2 加算Ⅰイ	□ 3 加算Ⅰロ			
			ADL維持等加算〔申出〕の有無	□ 1 なし	□ 2 あり				
			認知症加算	□ 1 なし	□ 2 あり				
			若年性認知症利用者受入加算	□ 1 なし	□ 2 あり				
			栄養アセスメント・栄養改善体制	□ 1 なし	□ 2 あり				
			口腔機能向上加算	□ 1 なし	□ 2 あり				
			科学的介護推進体制加算	□ 1 なし	□ 2 あり				

備考 1 この表は、事業所所在地以外の場所で一部事業を実施する出張所等がある場合について記載することとし、複数出張所等を有する場合は出張所ごとに提出してください。



介護給付費算定に係る体制等状況一覧表(案)

：令和6年4月改定箇所

以下の資料は、これまでに行われた介護給付費分科会の議論等を踏まえ、厚生労働省が事務的に整理した令和6年(2024年)2月21日時点の「介護給付費算定に係る体制等状況一覧表」の案です。

一覧表の具体的な内容については、決定されたものでないこと及び今後見直しの可能性があり得るものであることを御了知くださいますようお願いいたします。

なお、提出期限等の詳細については、共通編の「熊本県・熊本市からのお知らせ①」を御参照ください。

(別紙1-3)

介護給付費算定に係る体制等状況一覧表(地域密着型通所介護)

事業所番号

提供サービス	施設等の区分	人員配置区分	その他該当する体制等	LIFEへの登録	割引
各サービス共通			地域区分 <input type="checkbox"/> 1 1級地 <input type="checkbox"/> 6 2級地 <input type="checkbox"/> 7 3級地 <input type="checkbox"/> 2 4級地 <input type="checkbox"/> 3 5級地 <input type="checkbox"/> 4 6級地 <input type="checkbox"/> 9 7級地 <input type="checkbox"/> 5 その他		
□ 78 地域密着型通所介護	□ 1 地域密着型通所介護事業所 □ 2 療養通所介護事業所 □ 3 療養通所介護事業所(短期利用型)		職員の欠員による減算の状況 <input type="checkbox"/> 1 なし <input type="checkbox"/> 2 看護職員 <input type="checkbox"/> 3 介護職員	<input type="checkbox"/> 1 なし <input type="checkbox"/> 2 あり	<input type="checkbox"/> 1 なし <input type="checkbox"/> 2 あり
			高齢者虐待防止措置実施の有無 <input type="checkbox"/> 1 減算型 <input type="checkbox"/> 2 基準型		
			業務継続計画策定の有無 <input type="checkbox"/> 1 減算型 <input type="checkbox"/> 2 基準型		
			感染症又は災害の発生を理由とする利用者数の減少が一定以上生じている場合の対応 <input type="checkbox"/> 1 なし <input type="checkbox"/> 2 あり		
			時間延長サービス体制 <input type="checkbox"/> 1 対応不可 <input type="checkbox"/> 2 対応可		
			共生型サービスの提供(生活介護事業所) <input type="checkbox"/> 1 なし <input type="checkbox"/> 2 あり		
			共生型サービスの提供(自立訓練事業所) <input type="checkbox"/> 1 なし <input type="checkbox"/> 2 あり		
			共生型サービスの提供(児童発達支援事業所) <input type="checkbox"/> 1 なし <input type="checkbox"/> 2 あり		
			共生型サービスの提供(放課後等デイサービス事業所) <input type="checkbox"/> 1 なし <input type="checkbox"/> 2 あり		
			生活相談員配置等加算 <input type="checkbox"/> 1 なし <input type="checkbox"/> 2 あり		
			入浴介助加算 <input type="checkbox"/> 1 なし <input type="checkbox"/> 2 加算Ⅰ <input type="checkbox"/> 3 加算Ⅱ		
			中重度者ケア体制加算 <input type="checkbox"/> 1 なし <input type="checkbox"/> 2 あり		
			重症者ケア体制加算 <input type="checkbox"/> 1 なし <input type="checkbox"/> 2 あり		
			生活機能向上連携加算 <input type="checkbox"/> 1 なし <input type="checkbox"/> 3 加算Ⅰ <input type="checkbox"/> 2 加算Ⅱ		
			個別機能訓練加算 <input type="checkbox"/> 1 なし <input type="checkbox"/> 2 加算Ⅰイ <input type="checkbox"/> 3 加算Ⅰロ		
			ADL維持等加算(申出)の有無 <input type="checkbox"/> 1 なし <input type="checkbox"/> 2 あり		
			認知症加算 <input type="checkbox"/> 1 なし <input type="checkbox"/> 2 あり		
			若年性認知症利用者受入加算 <input type="checkbox"/> 1 なし <input type="checkbox"/> 2 あり		
			栄養アセスメント・栄養改善体制 <input type="checkbox"/> 1 なし <input type="checkbox"/> 2 あり		
			口腔機能向上加算 <input type="checkbox"/> 1 なし <input type="checkbox"/> 2 あり		
			科学的介護推進体制加算 <input type="checkbox"/> 1 なし <input type="checkbox"/> 2 あり		
			サービス提供体制強化加算 <input type="checkbox"/> 1 なし <input type="checkbox"/> 6 加算Ⅰ(イの場合) <input type="checkbox"/> 5 加算Ⅱ(イの場合) <input type="checkbox"/> 7 加算Ⅲ(イの場合) <input type="checkbox"/> 8 加算Ⅲイ(ロの場合) <input type="checkbox"/> 9 加算Ⅲイ(ハの場合) <input type="checkbox"/> 4 加算Ⅲロ(ロの場合) <input type="checkbox"/> A 加算Ⅲロ(ハの場合)		
			介護職員処遇改善加算 <input type="checkbox"/> 1 なし <input type="checkbox"/> 6 加算Ⅰ <input type="checkbox"/> 5 加算Ⅱ <input type="checkbox"/> 2 加算Ⅲ		
介護職員等特定処遇改善加算 <input type="checkbox"/> 1 なし <input type="checkbox"/> 2 加算Ⅰ <input type="checkbox"/> 3 加算Ⅱ					
介護職員等ベースアップ等支援加算 <input type="checkbox"/> 1 なし <input type="checkbox"/> 2 あり					

事業所番号

提供サービス	施設等の区分	人員配置区分	そ の 他 該 当 す る 体 制 等												
各サービス共通			地域区分	<input type="checkbox"/> 1 1級地	<input type="checkbox"/> 2 2級地	<input type="checkbox"/> 3 3級地	<input type="checkbox"/> 4 4級地	<input type="checkbox"/> 5 5級地	<input type="checkbox"/> 6 6級地	<input type="checkbox"/> 7 7級地	<input type="checkbox"/> 8 8級地	<input type="checkbox"/> 9 9級地	<input type="checkbox"/> 10 その他		
<input type="checkbox"/> 78 地域密着型通所介護	<input type="checkbox"/> 1 地域密着型通所介護事業所		高齢者虐待防止措置実施の有無	<input type="checkbox"/> 1 減算型	<input type="checkbox"/> 2 基準型										
			高齢者虐待防止措置実施の有無	<input type="checkbox"/> 1 減算型	<input type="checkbox"/> 2 基準型										
			職員の欠員による減算の状況	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 看護職員	<input type="checkbox"/> 3 介護職員									
			時間延長サービス体制	<input type="checkbox"/> 1 対応不可	<input type="checkbox"/> 2 対応可										
			共生型サービスの提供 （生活介護事業所）	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 あり										
			共生型サービスの提供 （自立訓練事業所）	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 あり										
			共生型サービスの提供 （児童発達支援事業所）	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 あり										
			共生型サービスの提供 （放課後等デイサービス事業所）	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 あり										
			生活相談員配置等加算	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 あり										
			入浴介助加算	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 加算Ⅰ	<input type="checkbox"/> 3 加算Ⅱ									
			中重度者ケア体制加算	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 あり										
			生活機能向上連携加算	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 加算Ⅰ	<input type="checkbox"/> 3 加算Ⅱ									
			個別機能訓練加算	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 加算Ⅰイ	<input type="checkbox"/> 3 加算Ⅰロ									
			ADL維持等加算（申出）の有無	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 あり										
			認知症加算	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 あり										
			若年性認知症患者受入加算	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 あり										
			栄養アセスメント・栄養改善体制	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 あり										
			口腔機能向上加算	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 あり										
			科学的介護推進体制加算	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 あり										
			重度者ケア体制加算	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 あり										

備考 1 この表は、事業所所在地以外の場所で一部事業を実施する出張所等がある場合について記載することとし、複数出張所等を有する場合は出張所ごとに提出してください。

## 介護給付費算定に係る体制等状況一覧表（案）

：令和6年6月改定箇所

以下の資料は、これまでに行われた介護給付費分科会の議論等を踏まえ、厚生労働省が事務的に整理した令和6年（2024年）2月21日時点の「介護給付費算定に係る体制等状況一覧表」の案です。

一覧表の具体的な内容については、決定されたものでないこと及び今後見直しの可能性があり得るものであることを御了知くださいますようお願いいたします。

なお、提出期限等の詳細については、共通編の「熊本県・熊本市からのお知らせ①」を御参照ください。

介護給付費算定に係る体制等状況一覧表(地域密着型通所介護)

事業所番号														
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

提供サービス	施設等の区分	人員配置区分	その他該当する体制等										LIFEへの登録	割引				
各サービス共通			地域区分	<input type="checkbox"/> 1 1級地	<input type="checkbox"/> 2 2級地	<input type="checkbox"/> 3 3級地	<input type="checkbox"/> 4 4級地	<input type="checkbox"/> 5 5級地	<input type="checkbox"/> 6 6級地	<input type="checkbox"/> 7 7級地	<input type="checkbox"/> 8 8級地	<input type="checkbox"/> 9 9級地	<input type="checkbox"/> 10 その他	<input type="checkbox"/> 1 なし <input type="checkbox"/> 2 あり	<input type="checkbox"/> 1 なし <input type="checkbox"/> 2 あり			
			職員の欠員による減算の有無	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 看護職員	<input type="checkbox"/> 3 介護職員												
□ 78 地域密着型通所介護	□ 1 地域密着型通所介護事業所 □ 2 療養通所介護事業所 □ 3 療養通所介護事業所(短期利用型)		高齢者虐待防止措置実施の有無	<input type="checkbox"/> 1 減算型	<input type="checkbox"/> 2 基準型											<input type="checkbox"/> 1 なし <input type="checkbox"/> 2 あり	<input type="checkbox"/> 1 なし <input type="checkbox"/> 2 あり	
			業務継続計画策定の有無	<input type="checkbox"/> 1 減算型	<input type="checkbox"/> 2 基準型													
			感染症又は災害の発生を理由とする利用者数の減少が一定以上生じている場合の対応	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 あり													
			時間延長サービス体制	<input type="checkbox"/> 1 対応不可	<input type="checkbox"/> 2 対応可													
			共生型サービスの提供(生活介護事業所)	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 あり													
			共生型サービスの提供(自立訓練事業所)	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 あり													
			共生型サービスの提供(児童発達支援事業所)	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 あり													
			共生型サービスの提供(放課後等デイサービス事業所)	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 あり													
			生活相談員配置等加算	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 あり													
			入浴介助加算	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 加算Ⅰ	<input type="checkbox"/> 3 加算Ⅱ												
			中重度者ケア体制加算	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 あり													
			重度者ケア体制加算	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 あり													
			生活機能向上連携加算	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 加算Ⅰ	<input type="checkbox"/> 3 加算Ⅱ												
			個別機能訓練加算	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 加算Ⅰイ	<input type="checkbox"/> 3 加算Ⅰロ												
			ADL維持等加算(申出)の有無	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 あり													
			認知症加算	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 あり													
			若年性認知症利用者受入加算	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 あり													
			栄養アセスメント・栄養改善体制	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 あり													
			口腔機能向上加算	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 あり													
			科学的介護推進体制加算	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 あり													
			サービス提供体制強化加算	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 加算Ⅰ(イの場合)	<input type="checkbox"/> 3 加算Ⅰ(ロの場合)	<input type="checkbox"/> 4 加算Ⅱ(イの場合)	<input type="checkbox"/> 5 加算Ⅱ(ロの場合)	<input type="checkbox"/> 6 加算Ⅲ(イの場合)	<input type="checkbox"/> 7 加算Ⅲ(ロの場合)	<input type="checkbox"/> 8 加算Ⅳ(イの場合)	<input type="checkbox"/> 9 加算Ⅳ(ロの場合)	<input type="checkbox"/> 10 加算Ⅴ(イの場合)	<input type="checkbox"/> 11 加算Ⅴ(ロの場合)	<input type="checkbox"/> 12 加算Ⅵ(イの場合)			<input type="checkbox"/> 13 加算Ⅵ(ロの場合)
			介護職員等処遇改善加算	<input type="checkbox"/> 1 なし <input type="checkbox"/> 2 加算Ⅰ <input type="checkbox"/> 3 加算Ⅱ <input type="checkbox"/> 4 加算Ⅲ <input type="checkbox"/> 5 加算Ⅳ <input type="checkbox"/> 6 加算Ⅴ <input type="checkbox"/> 7 加算Ⅵ <input type="checkbox"/> 8 加算Ⅶ <input type="checkbox"/> 9 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 10 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 11 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 12 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 13 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 14 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 15 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 16 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 17 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 18 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 19 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 20 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 21 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 22 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 23 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 24 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 25 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 26 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 27 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 28 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 29 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 30 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 31 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 32 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 33 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 34 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 35 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 36 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 37 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 38 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 39 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 40 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 41 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 42 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 43 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 44 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 45 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 46 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 47 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 48 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 49 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 50 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 51 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 52 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 53 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 54 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 55 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 56 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 57 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 58 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 59 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 60 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 61 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 62 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 63 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 64 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 65 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 66 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 67 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 68 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 69 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 70 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 71 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 72 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 73 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 74 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 75 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 76 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 77 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 78 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 79 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 80 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 81 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 82 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 83 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 84 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 85 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 86 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 87 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 88 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 89 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 90 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 91 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 92 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 93 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 94 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 95 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 96 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 97 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 98 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 99 加算Ⅷ <input type="checkbox"/> 100 加算Ⅷ														
			介護職員等処遇改善加算	<input type="checkbox"/> 1 なし <input type="checkbox"/> 2 加算Ⅰ <input type="checkbox"/> 3 加算Ⅱ <input type="checkbox"/> 4 加算Ⅲ <input type="checkbox"/> 5 加算Ⅳ <input type="checkbox"/> 6 加算Ⅴ														
			介護職員等処遇改善加算	<input type="checkbox"/> 1 なし <input type="checkbox"/> 2 加算Ⅰ <input type="checkbox"/> 3 加算Ⅱ <input type="checkbox"/> 4 加算Ⅲ <input type="checkbox"/> 5 加算Ⅳ														

介護給付費算定に係る体制等状況一覧表(地域密着型通所介護・主たる事業所の所在地以外の場所で一部実施する場合の出張所等の状況)

事業所番号													
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

提供サービス	施設等の区分	人員配置区分	その他該当する体制等										LIFEへの登録	割引				
各サービス共通			地域区分	<input type="checkbox"/> 1 1級地	<input type="checkbox"/> 2 2級地	<input type="checkbox"/> 3 3級地	<input type="checkbox"/> 4 4級地	<input type="checkbox"/> 5 5級地	<input type="checkbox"/> 6 6級地	<input type="checkbox"/> 7 7級地	<input type="checkbox"/> 8 8級地	<input type="checkbox"/> 9 9級地	<input type="checkbox"/> 10 その他	<input type="checkbox"/> 1 なし <input type="checkbox"/> 2 あり	<input type="checkbox"/> 1 なし <input type="checkbox"/> 2 あり			
			高齢者虐待防止措置実施の有無	<input type="checkbox"/> 1 減算型	<input type="checkbox"/> 2 基準型													
□ 78 地域密着型通所介護	□ 1 地域密着型通所介護事業所		業務継続計画策定の有無	<input type="checkbox"/> 1 減算型	<input type="checkbox"/> 2 基準型											<input type="checkbox"/> 1 なし <input type="checkbox"/> 2 あり	<input type="checkbox"/> 1 なし <input type="checkbox"/> 2 あり	
			職員の欠員による減算の有無	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 看護職員	<input type="checkbox"/> 3 介護職員												
			時間延長サービス体制	<input type="checkbox"/> 1 対応不可	<input type="checkbox"/> 2 対応可													
			共生型サービスの提供(生活介護事業所)	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 あり													
			共生型サービスの提供(自立訓練事業所)	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 あり													
			共生型サービスの提供(児童発達支援事業所)	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 あり													
			共生型サービスの提供(放課後等デイサービス事業所)	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 あり													
			生活相談員配置等加算	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 あり													
			入浴介助加算	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 加算Ⅰ	<input type="checkbox"/> 3 加算Ⅱ												
			中重度者ケア体制加算	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 あり													
			生活機能向上連携加算	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 加算Ⅰ	<input type="checkbox"/> 3 加算Ⅱ												
			個別機能訓練加算	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 加算Ⅰイ	<input type="checkbox"/> 3 加算Ⅰロ												
			ADL維持等加算(申出)の有無	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 あり													
			認知症加算	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 あり													
			若年性認知症利用者受入加算	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 あり													
			栄養アセスメント・栄養改善体制	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 あり													
			口腔機能向上加算	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 あり													
			科学的介護推進体制加算	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 あり													
			重度者ケア体制加算	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 あり													

備考 1 この表は、事業所所在地以外の場所で一部事業を実施する出張所等がある場合について記載することとし、複数出張所等を有する場合は出張所ごとに提出してください。